

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

The Diary of Hisakatsu Hijikata (V)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-02-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土方, 久功 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00000853

土方久功日記 第31冊

1942年7月14日～11月30日（昭和17年）

解説

この第31冊には、昭和17年（1942）7月14日から11月30日までが収められている。4か月半しか収められていないのは、この第31冊が、89頁までしかなく、他の半分の分量しかないためである。しかし、この短い間、久功の身には、実に様々なことが起こり、振り回されることも多かった。

南洋から内地へ帰り、4か月たった。7月13日は、久功の42回目の誕生日であった。久功には何か期することがあったのであろうか、その翌日の14日から、日記を新しい「大学ノート」に改め、また、毎日のように近くにある柴山家に行って、書き物をすることにした。『バラオの神話伝説』、『流木』の原稿をまとめるためであった。

21日には、南洋庁の出張所に行き、退職願を提出した。それを受け、8月5日、バラオの商工課長より電報が届いた。内容は、バラオを去る前に話のあった、「退職ニ際シ無給囑託ノ件」であった。久功は、翌日、電報を打ち、無給囑託となることを受諾した。

6日、土方玉子の百箇日の法要から帰ったら、留守中に太平洋協会の清野謙次博士が訪れたとのこと。用件は、陸軍の司政官になってボルネオに行ってほしい。それで翌日10時に太平洋協会に承諾の返事を持ってきてほしい、と言い置いていったとのこと。あまりに突然の話である。

ボルネオ行は、その日のうちに決めねばならない、とのことなので、翌日の早朝、豪徳寺の川名敬子のところへ行き、ボルネオ行の話があるが、断って来る、と言い、10時に太平洋協会へ行った。そこには、清野、平野両名が待構えていた。久功は、病気を理由にボルネオ行を断った。しかし、清野等は、断られては困る、今度の北ボルネオの司政官人選は太平洋協会から全部揃えることになっていて、しかも日数も切迫している。兎も角、一応受諾してボルネオへ行ってもらいたい。体が悪くて堪えられないならば、行って直ぐ帰って来ててもよい、という。随分強引で無茶な話だが、断る術がない。そして久功は、遂に履歴書をその場で書かされた。

その帰り、再び豪徳寺の川名敬子を訪れ、ボルネオ行を断れなかったことを伝えた。家へ帰り、ボルネオ行を妹、弟に話したら、祝われたり、惜しまれたりされた。でも、久功は、こうなったら、ボルネオへ行くしかない、と覚悟した。

ボルネオ行の問題を抱えながら、久功は8月8日から25日まで、柴山昌生と綾子、道隆と4人で、長野の戸隠へ行った。涼しい戸隠で、森の中の散歩を楽しみ、手紙を書き、書き物をし、戦中とは思えぬほど、長閑で、楽しい、充実した日々を過ごした。16日には、宝光社の祭礼を見た。

戸隠から戻った久功は、27日、太平洋協会へ行った。平野、清野両名に面談し、ボルネオ行は10月中旬になるだろう、と聞いた。9月3日も、太平洋協会に行き、マレー語の講習を受け、その後、近くのホテルでボルネオへ調査へ行く人達との顔合わせがあった。

遠くの人4人程が欠席したが、協会側と合わせて20人程が集まった。

戸隠へ行く前、8月5日、久功は中島敦を訪ねた。この日の『日記』には、

中島ノ所ニ原稿ヲモッテ行き、十四時一緒ニ渋谷ニ出テ来ル。

と記されている。訪ねた時間が『日記』には書かれていないが、久功の8月1日付の手紙には、訪問の時間が「朝ノウチ」とあるので、午後2時まで、かなり長い時間、敦のところに居たことになる。

ところで、久功の8月1日付の書簡が、『中島敦全集』第3巻に収載されているが、そこには、次のように書かれている。

八日ニ信州ニ行くコトニシテ居ルノデ其ノ前ニオ会ヒシタイノデス、(中略) 五日カ六日カ七日ノ朝ノウチニオ訪ネスルコトニシマス、

実ハ「南風」ガアンマリ「南風」デナクナッテハシマッタノデスガ、既ニ二百六七十枚書ケテ居ルノデ、君ニ見テ頂キ度イノデス。

9月6日の日曜日、戸隠から帰ってきた久功は中島敦を訪ねた。この日の『日記』には、次のように書かれている。

九時半頃家ヲ出テ、敦チャンヲ訪ネル。敦チャンハ寝テ居タガ、別段悪イノデハナカッタノデ直グ起キタ。原稿ハ全部目ヲ通シテオイテクレタノデ、一通り見テ貰ッテ帰ッテクル。十四時。

ここにある「原稿」とは、もちろん、戸隠へ行く前に敦に預けていた、翌年3月に『流木』と題されて刊行される「サトワル生活記録」である。9月1日の戸隠に滞在していたときの『日記』に、「昼マデデ、ヤット『サトワル生活記録』ノ最後ノ章ヲカタヅケル。」と書かれているので、完成した最終章「拾遺」の原稿も持って行ったのであろう。

後年、久功はこのことを次のように書いている（「トン」、『著作集』第6巻所収）。

私に『流木』を出させたのは「トン」だったと言える。そして『流木』が出たのは「トン」が亡くなって半年もの後だった。しかし、「トン」が『流木』の原稿だけでも見てくれた事で私は満足しなければならない。

この時、敦が「原稿」について何を言ったかわからないが、久功が9時半に家を出て、14時に帰宅したのならば、久功は3時間余、敦のところに居たと考えられるので、かなり細かなことまでも話したであろう。『サトワル生活記録』、ついで『南風』となっていた著書の題名を、『流木』にしたのは、敦の助言によるものではなかろうか。

1週間後の13日、久功と川名敬子は、九段下の軍人会館で結婚式を挙げた。出席者37人の内輪だけのささやかな結婚式であった。前日の『日記』には、「明日来ル人達」の名が記されている。

柴山昌生夫妻、道隆、昭子、妙子、三沢寛夫妻、中島敦、山口歌子、久俊、英子、久頭、土方梅子、与平、道子、忠久、忠直、忠光、忠義、玄味、後藤夫妻、九
亀田豊次朗夫妻、加藤節子、宮寺嘉一、千葉宗八夫妻、稲葉真理子、峯慎平夫妻、伊藤千代人、寺田綾子、川名なか、英光、嵩久、

11時に式が行われ、12時半から会食となった。

ところが、久功・敬子の敦・令夫人宛の9月5日付の招待状（県立神奈川近代文学館所蔵。なお、「パラオ——二人の人生」展図録＜2007年、世田谷美術館＞189頁に招待状の図版が掲載されている）は、次のようである。

拝啓 お暑さの折柄、御壮健のほどお喜申し上げます。

扱て此の度 私ども後藤禎二氏御夫妻の御媒酌を得て結婚いたしました。就きましては、今後とも御懇情、御指導賜はり度く、甚だ畧儀乍ら書中を以て御挨拶申上ます。

追て披露の儀は、時局柄差控へさせて戴きましたが、実は近々ボルネオに参ることになって居りますので、お別れ旁々御一緒ニ御食事でも致し度いと存じますから、お暑い折柄恐れ入りますが、来る九月十三日正午、九段下軍人会館までおいでいたゞき度く、右御案内申し上げます。

敬具

九月五日

土方久功
敬子

中島 敦様
全 令夫人

追而、御諾否のほど一応伺ひ度く存じます。猶当日ハ必ず御畧装にて、お気軽ニお出向きいたゞき度く存じます。

この招待状を読む限り、久功と敬子は既に結婚式を挙げていて、当日行われるのは、単なるお別れの「会食」となっている。前日の『日記』には、先に掲げた出席予定者のリストがあり、中島敦の名も見える。ところが、「パラオ——二人の人生」展を担当された世田谷美術館学芸員の橋本善八氏、野田尚稔氏が結婚式当日の「芳名帳」を調査したところ、そこには中島敦の名前が無かった。中島敦は出席の予定ではあったが、当日は欠席したのであろう、とお教えいただいた。敦は久功の結婚式に出席しなかったのだ。当時、原

稿の注文に追われて多忙を極め、健康もすぐれなかった敦は、結婚式なら多少無理をしても出席したであろうが、お別れの「会食」だと思って欠席したのではないだろうか。

それにしても、久功は、どうしてそのような招待状を書いたのだろうか。ひとつ考えられるのは、久功の中島敦への心遣いである。敦は、当時、南洋庁を辞めて給料が入らなくなり、経済的に余裕がなかった。結婚式の披露宴となれば、しかるべき祝儀を包まねばならないであろう。それで、招待状では披露宴でなく「食事会」としたのではないか。招待状の最後に書かれた「必ず御畧装にて、お気軽ニお出向きいたゞき度く存じます。」という言葉にも、敦への気遣いがうかがわれる。

結婚式の後、久功と敬子は東京駅15時5分発の汽車で、箱根へ新婚旅行に向かった。強羅ホテルに3泊、箱根ホテルに2泊し、18日には熱海の大野屋に宿泊し、19日東京へ帰り、16時に新居へ入った。

新婚旅行の様子は、箱根の風景、ホテルの食事・おやつの評判、従業員の接客態度まで、こと細かく『日記』に書かれ、泊まったホテルの部屋の配置図も描かれている。

久功はこの新婚旅行へ、『パラオの神話伝説』の校正刷を持参し、旅行中に校正を済ませた。また、スケッチ・ブックに、気に入った風景をスケッチした。

敬子夫人は、この新婚旅行の時のことを、後年次のように書いている（前掲、「思い出」）。

新婚旅行に箱根から熱海に行きましたが、山道を散歩していても路傍の花を見つけるとこれは何と云う花かと聞いたり、この木の名を知っているかと聞き、鳥がないとある鳥は何かと、次から次へと聞き乍らしゃべり乍ら歩くので、何も知らない私は参ってしまいました。

私の方は景色を眺めて陶然としている方が好きで、只気持よくそぞろ歩いている方の性質でした。芦の湖のほとりで夕暮の山々を見ている内に、もの悲しくなって涙が出て来ました。

新婚生活が始まって落ち着く間もなく、ボルネオ行きの準備は進んだ。

9月25日、28日、南方班の集まりに行った。

10月7日、敬子の腹痛が癒えないので、盲腸の手術をすることになった。昼食後、自動車を頼んで、弟・久頭在所へ連れて行き、15時に手術した。経過は良好で、15日には退院し、帰宅した。

11月1日、大和書店から刊行された『パラオの神話伝説』が送られてきた。待望の著書である。

11月5日、久功はボルネオ調査団の「留守団長」に指名された。11月末に、長官等が先発として飛行機でボルネオへ行くことになったため、午後だけではあったが、毎日、

太平洋協会へ出勤することになった。

11月18日、突然、26日に出発する馬奈木参謀長の飛行機に座席があるので、出来たら先発しろ、と言われた。それで、翌日の夜、敬子と馬奈木少将の所を訪ねたら、飛行機には乗れそうだが、「可及的速カニ回答スル由」と言われる。久功は、8月の初めからボルネオの件ではここまで引き摺られてきて、早く決着を付けたかったので、先発で行くことにした。

20日は、朝から大忙しであった。敬子に自転車で三沢寛の所へ行ってもらい、夜に来てもらうようにし、昼前には、敬子と一緒に久頭を訪ね、22日に久頭の所で皆に集ってもらうようにし、次に、英子の所へ行き、中沢佑の判を借りて帰って、敬子に区役所へ行ってもらうことにし、久功は太平洋協会へ行った。いよいよ、飛行機で行く先発が確定した。上原も一緒に行くことになった。但し、辞令交付はまたまた延びて、出発の前日になるとのこと。ぎりぎりいっぱい何でもやりきれない、と嘆いた。

出発日も決まり、21日には、ボルネオ調査団の結成式があり、引続き夜には、太平洋協会の壮行会が行われることになった。ところが思わぬことが起き、混乱が起こった。久功が午後1時に太平洋協会に行ったら、陸軍省から朝電話があり、いよいよ上奏の手続きをとったが、久功の官等が、またまた一等おとして司政官に任官させるようにした、という。久功はそれを聞き、怒り、最後になってまで「インチキ」なことをするのならボルネオへ行かないから止めにしてくれ。囑託にしてくれ、と言ったら、太平洋協会の関嘉彦が電話で任官取下げを依頼した。陸軍では、既に書類を出したからもう駄目だと言い、さらに、久功の任官取下げをすれば、皆の辞令が全部遅れる、と変な脅しのようなことを言われた。兎も角、取り替えるよう努力しよう、とのことだった。

そのあとすぐに浅草・草津亭に馬奈木参謀長のボルネオ懇談会へ行った。4時になって馬奈木少将が来たので、久功は、辞令の交付が遅れるから、26日出発の飛行機には乗れない旨を言い、途中で席を立った。太平洋協会の壮行会へも出ず、柴山昌生叔父から華族会館へ呼ばれていたの、真直ぐ華族会館へ行った。久功の立腹の様子がわかるというものだ。もうボルネオ行は止めるつもりでいた。昌生・梅子夫妻のほか、中沢夫妻、久頭、本田英昌がいて、夕食の後、2時間ほど雑談した。

翌22日は日曜日だったので、太平洋協会の平野義太郎を自宅に訪ねたら留守だったので、夫人に、もうこれ以上ぐずぐずするなら、ボルネオ行は断る旨を告げて帰ってきた。

夕方、久頭のところへ行った。久功のお別れの会の筈だったが、前日の「ヒックリカヘリ」で、ボルネオ行は止めになったので、会の趣旨はぼけてしまったが、久々で兄弟全部が集り、柴山昌生夫妻、久功の兄弟夫婦、それに子供達も加わり、快い大懇親会になった。

23日は、ボルネオ行は止めにしたので、お別れの挨拶廻りもなくなり、一日炬燵に入っていたら、長閑な休日気分になった。翌日24日、昼前に太平洋協会に行つて平野義太郎に、もうこれ以上ごてごてと長引くならば、ボルネオ行は止めたい旨話をした。しかし、昼食に出て太平洋協会へ戻ってくると、陸軍省からの電話で、囑託に変更できたの

で、翌朝9時に、先発の人々と一緒に判を持って出頭せよ、と言われた。これで、ボルネオ行きを止める理由はなくなり、再び久功は、ボルネオへ行くことにした。

翌日も、久功は一日中走りまわされた。9時に陸軍省へ行ったら、10人程が寒い部屋で1時間半も待たされた後、係員が5、6種の書類を持ってきた。昼の弁当の後、服装の衣料切符を渡されたが、旅費がどうしても出ない。今日明日出発する人達は待ちきれず、偕行社に行って品物を整えるため帰ってしまい、久功と上原だけが4時半まで待たされ、皆の旅費をもらって太平洋協会へ行った。そこへ間もなく白井少佐から電話があり、久功と上原は、当初の予定通り、27日発の馬奈木参謀長の飛行機に乗せてもらうことにしたから、連絡をとってくれと言ってきた。久功は再び引きずり回されることになった。

翌26日の早朝、敬子は馬奈木参謀長の所へ行き、翌日の飛行機の出発時間、場所を聞きに行ったら、やはり、飛行機に乗る人は既に決まっていて、久功の席はない、何かの間違いである、と言われた。太平洋協会へ電話しても、やはり駄目だった。実に目まぐるしい。

この日の『日記』には、

斯ウ毎日ノ様ニ、飛行機ニ乗レ、イヤ降りロデハ、アハテテミタリ、気が抜ケテシマツタリデヤリキレナイ。ソレモ自分バカリデハナク、一方上原君ノ方デモ全様ダラウガ、家ノ者マデ皆ガ全ジ繩ニヒキズラレテ、ノメツタリ引止メラレタリスルザマハ、意志ノアル人間ニハチトヤリキレナイ図ダ。マルデ犬ノ様ニ類ニ繩ヲカケラレテ居テ、“ソレ走レ！”デ全速力デ走り出スト、イキナリ“止レ！”ト全時ニ、グット繩ヲ引張ラレル。コレデハ喉ガツマッテシマフ。ソレヲジュズツナギデヤラレテ居ル様ナ図ダ。

と書かれている。

出発の日は決まっていなかったものの、ボルネオ行は確定したので、29日に、久野、英子、柴山家へ別れの挨拶に行った。夜は、後藤禎二から夕食に招かれた。

30日の昼前、中島敦を訪ねたら、16日にひどい発作を起こして入院し、その後、11本も注射を打ち、殆ど危なかったと聞かされた。入院先は近くの岡田病院（現・世田谷中央病院）だったので、直ぐに行ってみた。パラオにいた時と同じように、何枚も布団を積み上げた所に凭りかかかって、苦しそうな様子だったが、思ったよりは元気で、一時間ばかり話して、昼過ぎに帰ってきた。これが、久功が中島敦に会った最後であった。

〔表紙〕
 [31 一九四二・七・一四ヨリ 一九四二・一一・三〇マデ
 昭和十七年 ㊦
 HISAKATSU・H・]

七月

十四日 火 曇, 霞,

今日カラ柴山サンニ行ッテ書キ物ヲスルコトニシ, 朝九時カラ行ッテ午後五時過ギニ帰ッテクル。帰ル頃ニナッテ, 百合チャン夫婦ガ赤ン坊ヲツレテ来ル。

シナケレバナラナイコトガ沢山アリ過ギテ, ソレガチットモハカドラナイデ, 本バカリ読ミタクテ駄目ナノダガ。モルスノ「日本ソノ日ソノ日」石川千代松訳ヲ一番ヒマナ時——ト云フヨリ, 一寸シタ時間ノ合間ダケ読ムコトニシテ, 半分バカリ読ンデ居ルガ, 実ニ面白イ。モルスノ観察ノ多方面デ, シカモ何ヲデモーツノ見方ヲシテ居ルノモ興味深イガ, 自分達ノ聞イテダケ知ッテ居タリ, マルデ知ラナカッタリスル年代ノコトドモデアリ, 其ノ過渡期ノ姿ガ目ニ見エル様ニ描カレテ居ルノモ実ニ興味深イ。驚キガコレホドマデ細々ト物ヲ観察サセタノデハアラウガ, 驚カナイデモ此ノ位ヒノ, ト云フノハ自分ノタツサハラナイ部分ニ氣ヲクバツテ見ルコトハ出来ル筈デアリ, 若シソノ様ニシテ, 此ノ様ニコマゴマト書キ綴ッテオイタナラバ, 五十年, 百年後ニソレヲ読ムモノハキツ全ジ面白サヲ感ズルニチガヒナイ。

受信 中島敦,

発信 中島敦, 阿刀田研二,

十五日 水 曇, 日暮カラ小サナ雨アリ。

イツモ五郎チャンニアフ度ニ, 新井氏が一度逢ヒタイト云ッテ居ルト云フノデ, ソシテ一昨日モ柴山サンデ会ツタ時, 明日ハ何ウダ, 明後日ハ何ウダト云フノデ, 今日行クコトニシテオイタ。ソレデ, 午後三時過ギニ慈恵医大マデ行ッテ新井氏ヲ訪ネタガ, 別段ノ用モナカッタ。夕方帰ッテクルト小サナ雨が降り, グット涼シクナル。

十六日 木 終日ドンヨリト曇リ, 時々小サナ小サナ雨が降り, 終日ヒヨヒヨト寒イ。

朝九時カラ夕方五時マデ柴山サンデ書物。綾子ガ又気分ガ悪クデ寝テシマフ。

静子サンモ一昨日ノ晩カラ又熱ヲ出シテ寝タキリ。

十七日 金 曇, 後晴,

日ガ照ッテ空氣ガ冷タクテ, 珍ラシク氣持ノヨイ日。

夕方柴山サンカラ帰ッテ来ルト, 中沢サンノ所ニ佑サンガ帰ッテ来テ居ルト云フノデ

寄ッたら、兄上モ来テ居タノデー時間バカリ上ッテ、兄上ト一緒ニ帰ッテクル。兄上一寸寄ラレタガ、久顯ノ手ガスカナイノデ、帰ッテ行カレル。

〔発信〕 倉橋弥一、川名敬子、

十八日 土 晴、□風ガアッテ気持ノイイ天気、
柴山サンデー日。

〔受信〕 中島敦、西尾善積、

十九日 日曜日 晴、暑ケレド風アリ、
朝九時半過ぎ、川名サンニ行ク。十一時、敬サント二人デ後藤ノ所ニ行ク。
五時過ぎ、川名サンノ所ニ行ク。嵩チャンモ帰ッテ来テ居テ、夕食ヲ馳走ニナッテ、
終ッタ頃、英光サンガ帰ッテ来ル。九時半帰宅。

〔受信〕 中川善之助、

二十日 月 晴、暑ケレド午後ハ風アリ。
柴山サンデー日。

〔欄外に記す〕
〔千一夜物語〕

先日ウチカラ電車ノ中ノ読物トシテ「千一夜物語」(二) (□岩波文庫) ヲポケットニ入レテ居タガ、昨日読シタ。(一) ヲ読ンデ居ナイノダガ、ソシテ昔昔読ンダ小□^子供ノ本トシテノ「アラビヤナイト」ハモウスッカリ忘レテシマッテ居ルシ、殆ド別物ヲ読ムヤウナ気ガスル。不思議ナ神秘主義、運命主義、アノダンセニー□ノ「サムーン」ノ□^題回教ニモ見エルガ矛盾ナ残酷——「サムーン」□□□^{ノ方ハ}デハソレガ企図ノデアルガ、ココニアルソレハ気マグレデ、寧ロソレガ目的デハナクテ、話ヲ引出ス為ノ道具トシテ思ヒツカレテ居ル程度ダガ、ソレヨリモ何テ童話ジミタ、シカシ大人ガ読ンデモ美シイ文章ダラウ。近頃ノ現実ノナクドクドシイ、毒毒シイ実感ノナモノ——ソンナモノヨリ更ニ目□前ノセチガライ現実ニ、否応ナシニ直面シナケレバナラナイ人間ニ、ナントコレハスガスガシイタンサン水デアラウ。ソシテ更ニ屢々出テクル美シイ詩ハ、ソレコソハ古代アラビヤノ回教前カラ積ミ上ゲ積ミアゲラレタ「詩」ノ「詩想」ノ「詩語」ノ磨カレタ美シサダラウ。

〔受信〕 中川善之助、倉橋弥一、

中川氏カラハ明日丸ビルデ逢ヒ度イト、昨日ノ速達デ云ッテ来タノヲ、都合ガ悪クテ出京出来ナクッタカラト取消シテ来ル。

倉橋君カラノハ、都合ヨケレバ明日ノ午後銀座デ□会ハウト。

二十一日 火 晴，風出デシモ暑シ，

受信 民族学会（5.00）

発信 中川善之助，古野清人，榊田幸太郎（退職願）

朝，文子姉上が来ル。

十一時ニ家ヲ出テ南洋庁ノ出張所ニ行ク。退職願ヲ持ッテ行ッタノダガ，丁度文協ノ前ニ吉本君ニ呼ビトメラレ，出張所長ガ来テ居ナイコトガワカッタノデ，吉本君ニ渡シテ来ル。

一時ニ銀座ノコロンバンデ倉橋君ニ会フコトニナッテ居タノデ，銀座ニ出タガ，三十分モ早イノデ三越ニ入り，ヨイ頃ニコロンバンニ行ッタガ，倉橋君ガ来タノハソレカラ三十分モタッタ後ダッタ。倉橋君ト話シ話シ，松坂屋ノ「南洋美術協会」ノ展覧会ニ行ク。西尾君（善積）ニ会ヒ永イコト話シテ，三時頃ニ山崎泰雄君ガ浜松町デ出版社ヲ出シテ居ルト云フノデ一緒ニ行ク。平木二六君ト古谷綱武君ニ紹介サレル。皆デブラブラ銀座マデ出テ，千疋屋デオ茶ヲノンデ五時半頃分レル。

二十二日 水 晴，暑，

昨日家入君ノ処カラ電話ガアッタト云フノデ，朝一寸英子サンノ所ニヨッたら，又今日電話スルカトノ返事ダッタ由ダッタノデ，暫ク佑サント話シテ，若シ電話ガ来たら柴山サンニ電話シテ貰フ様ニタノンデ柴山サンニ行ッタガ，電話ガ来ナイノデ，ソノママ方祐天寺ニ行キ，夕食ヲ馳走ニナッテ，トレシングペーパーヲ貰ッテ九時過ギニ帰ッテ来たら，留守ニ家入君ガ訪ネテクレタ由。

受信 太平洋協会（講演通知）

二十三日 木 晴，午前中ヒドク蒸々シタガ，午後ハ風ガ出ル。

夕方柴山サンカラ帰ッたら，兄上が来テ居タ。

二十四日 金 晴，暑，午後風アリ，

柴山サン。十一時，竹下君ト野口君ニ電話シテ，二時半ニ銀座デ会フコトニシ，午後出カケ二人ニ会ッテ二人ヲ紹介スル。オ茶ヲノンデ四時マデ話シテ，夕方帰ッテクル。

夕食後，久顕サンハ允久ヲ葉山ニツレテ行ク。

受信 三沢露子，甘露寺方房，

発信 三沢寛・露子

二十五日 土 晴，暑，

一日柴山サン。

夕食後，三沢ヲ訪ネ十一時ニ帰ル。

留守ニ文理大ノ渡辺君ト辻君トガ来テクレタ由。博物学雑誌——南洋旅行報告号ヲモッテ来テクレル。

二十六日 日曜日 晴，酷暑，

一日柴山サン。

夕食後，敬子サンガ来ル。久顕ハ逗子ニ行ッテ居ナカッタシ。二人デー寸中沢サンヲ訪ネ，ソレカラ柴山サンニ行き，□庭ノ芝生デ九時半頃マデ。月ガ実ニイイ。

発信 三沢寛，辻忠二郎，甘露寺方房，

二十七日 月 晴，酷暑，

一日柴山サン。

久顕，夜葉山ニ行ク。

二十八日 火 晴，

一日柴山サン。夕食後，綾子ト銀座ニ出ルツモリダッタ処，百合チャン夫婦ガ来，叔父様ガ遅カッタノデ，康明サンノ相手ヲシテ遅クナッテシマフ。浅野サンガ見エテ，叔父様ガ帰ッテ来ラレテ，十一時過ギマデ。

二十九日 水 晴，暑，

一日柴山サンデ書物。

午後三時頃，百合チャンガ来テ，夕方洋子チャンヲ連レテ帰ル。

久顕，斎藤ヲツレテ葉山ニ行ク。

三十日 木 晴，暑，夜ニ入ッテ暫ク雨アリテ涼シクナル。

朝髪床ニ行ッテカラ柴山サンニ行クト，間モナク三沢ガ訪ネテクレタ由電話アリ，帰ル。三沢ハ夕方マデユックリシテ行ク。

三十一日 金 晴，風涼シ。

一日柴山サンニ居テ，夕方帰ラウトシテ居たら，電話デ人ガ来テ居ルト知ラセテ来タノデ直グニ帰ッたら，田沼サント高崎サントガ来テ居ル。高崎サンガ帰ッテ来テ，田沼サンニ速達デ知ラセタノデ，田沼サンハ今朝出テ来タ由，野菜ヲ持ッテ来テクレル。一時間半程南洋ノ話，国々ノ話シ。明日佐藤サント三人デ会フ由ダッタノデ，ソレニ加ハルコトニスル。

夜，中沢サンニオヨバレ，久顕サント，兄上一家ト。

〔1 頁白紙〕

八月

一日 土 晴，暑，

朝ノウチ柴山サン，午食前ニ出テ，数寄屋橋デ田沼，高□崎，佐藤君等トアヒ，夕方マデ方々ブラツイテ別レル。

留守ニ敦チャンガ来テクレタ由。

受信 東久世通忠，阿刀田研二，

発信 中島敦³⁴⁴，竹下源之介，

古野清人著「原始文化ノ探求」，読了。

二日 日曜日 晴，暑，

十一時半ニ虎ノ門ノ晩翠軒ニ行ク。仰陽会ノ集り。賀陽宮殿下ヲハジメ集ッタモノ，岡俊二，佐々木六郎，高橋茂雄，本多正震，大木喜福，甘露寺方房，北大路信明，松方義雄，徳川宗敬。

三時頃散会，帰り，本多ノ家ニ行キ，夕方豪徳寺ニマハッテ敬子サンノ所デ九時半頃マデ。

受信 竹下源之介，「山信」（竹下源之介ヨリ）

三日 月 晴，暑，日暮レテ雷雨暫ク。

一日柴山サン。昼前五郎チャンガ来，十五時頃，百合チャンガ洋子チャンヲツレテ一寸来ル。

受信 中島敦，

四日 火 晴，風アリテ稍涼シ，日暮頃ヨリ雷雨。

一日柴山サン。

五日 水 晴，風アリテ涼シ。（未明ヒドキ雨アリ）

中島ノ所ニ原稿ヲモッテ行キ³⁴⁵，十四時一緒ニ渋谷ニ出テ来ル。夕方，道子来，夕食ヲタベテ行ク。二十時前，道子ヲ送ッテ祐天寺マデ行ッテクル。

受信 商工課長ヨリ電報（退職ニ際シ無給囑託ノ件）

六日 木 曇，小雨二三回，

発信 商工課長へ電報（無給囑託受諾ノ件）

オ玉様ノ百ケ日ノ法要ガアルノデ，英子サント早昼デー時ニオ寺ニ行ク。兄上ト四郎サント，矢野定一サンガ来テ居タガ，一時ニナッテモ肝心ノ忠チャン達来ズ，殆ト一時間モシテ，忠チャン，信チャン，ヨシ子サン，オクワサン，オイクサン，ヤチコチャン，綾様見エ，三時頃式ヲ終リ，忠チャン□達三人ト綾様，四郎サン，古井サント七人デ，東京駅ヲ四時過ギノ汽車デ茅ヶ崎ヘオ墓マキリ。六時五十六分ノ汽車デ帰ッテクル。

八時頃家ニカヘルト，兄上ガ来テ居テ久頭ト酒ヲ飲ンデ居タガ，留守ニ，清野博士ガ来ラレタ由。何デモ陸軍ノ司政官ニナッテボルネオニ行ッテホシイ由，明日十時ニ太平洋協会ニ，承諾ノ返事ヲモッテ来テホシイ由ヲ言ヒ置イテ行カレタ由。

十一時過ギテ兄上ハ帰ッテ行カレル。

七日 金 曇。

ボルネオ行キハ何デモ今日中ニ決定シナ□ケレバナラナイト云フノデ，而シテ明日ハ戸隠ヘ行クコトニナッテ居ルノデ，今日ハ早朝豪徳寺ニ行キ，ボルネオ行キノ話ヲシ，何デモ断ッテ来ルト云フコトニシテ，十時ニ太平洋協会ニ行ク。清野氏，平野氏，待チカマヘテ居ラレ，病氣——神経痛，胃液過多デ，今南洋庁ニ辞表ヲ出シタ所デモアリ，暫ク休ミ度イ旨ヲ以テ一応ボルネオ行キヲ断ツタガ，□□^{此ノ}今度ノボルネオ（北ボルネオ）ノ司政官人撰ハ全ク太平洋協会カラ全部揃ヘルコトニナッテ居リ，且ツ日数ハ切迫シテ居ルノデ断ラレテハ困ル，ドンナ条件ガアッテモヨイカラ兎モ角，一応受諾シテ行ッテ貰ヒ度イトノ事デ，体ガ悪クテ堪エラレナイナラバ，行ッテ直グ帰ッテ来テモヨイシ，其ノ旨ハ□皆ニモ話シテオクカラ，行クダケ行クト云ッテクレト云フ訳デ，何トモ断ル術ガナイ。遂ニ履歴書ヲ其ノ場デカカサレル。

清野氏ト昼食ニ出，後ワカレテ直グニ再ビ豪徳寺ニマハリ，遂ニボルネオ行キガ断リキレナカッタ由ヲ伝ヘテ四時頃ニ帰ッテクル。英子サンガ丁度来テ居リ，久頭モ居テ，ボルネオ行キガ中途半バニ祝ハレタリ惜シマレタリスル。自分トシテモヤット落着クコトニキメタ所ナノデ，ボルネオモイイ，仕事モイイノニ，何か中途半バナ氣ハスルガ，一方キマッテシマッタノデ，結局ハ他ノ総ベテノ事ヲ事情ニ歩ミヨセルヨリ外ナクナッタ。明日ハ戸隠ニ立ツノデ，久頭ガオ別レトオ祝トヲシテクレ，十時前ニ荷物ヲカバンニツメコンデ柴山サンニ行キ，宿ル。

明朝ハ八時ノ準急デ行ク筈ダッタ所，十時ノニノバシタ由。

八日 土 晴，午後曇，後小雨降ッたり止ンダリ。

昌生叔父様ト綾子ト道隆ト四人デ，八時ニハ家ヲ出，皆両手ニ荷物ヲサゲテ，九時ニ

ハ上野ノ駅ニ着ク。大変ナ人々。大変ナ人々ノ行列。ソシテ十時四十五ノ私達ノ□汽車ノ為ノ行列ガ九時二十分ニハモウ並ビ出スト云フ始末。ソレデモ私達ハ前カラ二十番目位ニハ入ルコトガ出来タガ、見ル見ルウチニ行列ハ長ク長ク後ニ延ビテ——私達ハ行列ヲ作ッタママデ、一時□間ノ^途□余モ立チツクサネバナラナカッタ。ヤット四人一緒ノ席ガトレタガ、二等車□□デモ立チ続ケノ人が相当居タ。□汽車ハ暑カッタ。沢山ノトンネルヲスケテ熊ノ平ニ来ルト、急ニ風ガヒンヤリシタ。軽井沢ニ着クト、戸田サンノオ父サント康明サントガブラット・ホームニ出テ居ラレテ、オヤツニト新ジャガ芋ノフカシタノ□ヲ持ッテ来テ下サッタ。ソコデ汽車ハヤットスイタ。

長野ニ着イタノガ五時過ぎ、歩キ出シタラ又雨ニナッタノデ、宿ノ者が迎ヘニ来テクレテ、自動車ヲタノンデクレタノデ、ソレデツタヤ旅館（本陣）ニ入ル。大本願³⁴⁶カラ丸茂氏が来ラレ、オ叔^母□父様ヲ訪ネテミエテ、西瓜ト桃トヲモッテ来テ下サル。

永々ト湯ニ入り、夜ガ寒イヤウニツメタイ。雨ハ降ッたり止ンダリデ晴レサウニナイ。

九日 日曜日 曇、小雨午前中、又夜、

雨が降ッたり止ンダリスル中ヲ、大本願ニ一寸ユキ、案内ノ人ニ連レラレテ善光寺ニオ詣リ、忠霊殿ニモオ詣シテ門前デ案内ノ人ニ別レテ町ヲブラツイテ宿ニカヘルト、大本願ノ中村氏が見エル。十一時、大本願カラ差シムケラレタ自動車デ戸隠ヘ。一時間半ノ後十二時半ニ中社ニ入り、武井氏ノ所ニオチツキ、□昼食ニハ早速名物ノオソバ。曇リガ深く小サナ雨が来テハ止ムノデ、プラプラト近所ヲ歩イタ程デ、アトハオ昼寝。

夜モマタ早々ト寝テシマフ。手紙カキ。

十日 月 曇、時々小雨。

朝食前、昼食前、夕食前ノ散歩ト午後ノ昼寝、手紙カキ。

〔発信〕 土方愛子、土方静子、野村貢、榊田幸太郎、本多正震、川名敬子、小口よし子、小口刀子、久保田公平、大平辰秋、

十一日 火 晴、ト云ッテモ秋ノヨウニ冷エ冷エスル、

中川善之助様

次ニ御尋ネノ件、オ答ヘシマス。

○婚約。サトワル島ニハ婚約ト云フ言葉モ事実モナイ様ニ思ヒマスガ、ドイツニスナップ物語ノ中ニハ、一緒ニ生レタ子供同志ヲ親達ガ将来夫婦ニサセル約束ヲシテ、遂ニ二人ガ大キクナッテ夫婦ニナッタト云フノガアリマシテ——他ニモ婚約サセル話ガアリマス——其ノ様ナ觀念ガ全クナイトハ云ヘナイトモ見ラレマス。バラオニ於テハ稍婚約ト見ラレル例ガアリマシテ、云ハバ許婚ト云フ様ナ言葉ガニツバカリアリマシタガ、一寸忘レマシタ。一ツハ「レングヅ」（結ブ）ト云フ語ノ一形ヲ用キタ言葉ダッタ事ダケ

オボエテ居マス。又旧□□ンヘミリヤンガル部落ノガラメルトガラリックルナル両部ノ——ツマリ村ノビッターントビッターンノ首長家ノ間ニ於テハ、互ニ息子息女ヲ小サイ時ニ夫婦約束シテ、其ノ様ニ実行スルノガ例デアットモ伝ヘラレテ居リマス。

色々ナ場合ガアリマスガ、ノートガナイノデ確カナ例ヲ挙ゲルコトガ出来マセンガ、一般的ナ「約束ト婚姻トノ間」ハサトワル島ナドニ於テハ、数日ヲ越エナイ如クデアリマスガ、パラオニ於テハ稍長イ例ガアルヤウデス。殊ニルバクノタオル（喪）等ノ為ニ約束カラ婚姻マデニ、或ル日月ヲ待タネバナラナイヤウナ例ハ有リ得タコトデセウ。併シパラオノ婚姻ヲドコニ定メルカハ、別問題ニナリマス。例ヘバ「ブス」ヲ贈ッテ男ガ女ノ家ニ入ッタ時ニ——實際ノ婚姻ガ成立スル訳デハアリマスガ——僅カニ其ノ様ナ事実ノ後ニ二人ガ別レタ場合、ソレヲモ彼等ノ間ニ於テ「既ニ結婚シタモノガ離婚シタ」モノト認メルカドウカトナルト、疑ハシイモノダト思ハレマス。併シソノ様ナコトハ法学^学□□律学ノ上デドノ様ニ取扱ハレルモノカ知りマセンノデ、深クハ触レラレマセン。サトワル島ニ於ケル例ハ、其ノ長イ方ヲ示ス例ガナク（コレハナカナカワカラナイノデス）、反対ニ即日婚姻スル等ノ例ハイクラデモ挙ゲラレルノデス。是レニ就イテハ私ハ「サトワル島ノ結婚ト離婚」ト云フ文ヲ書イテ居リマシテ、七年間ノ結婚離婚ノ全例ヲ挙ゲテ居リマスカラ、他日御覧ニ入レル機会ガアリマセウ。

○一夫多妻ハ私ノ知ッテ居ル範囲デハ、一般ニハナイ様デアリマスガ、昔カラパラオニ於テハ酋長ハ本妻ノ外ニ妾ヲ持ッタ例ガアリ、現ニウギワルノ村長アクランハ公然ト二人ノ妻ヲ持ッテ居リ、コロールノオルクリールガ、長年妾ヲ持ッテ居ルコトモ皆知ッテ居ル様ナ例モアリマス。

サトワルニ於テモ、公然タルモノデハ勿論アリマセンガ、其ノ様ナ私カナ事実ハ稀ニハアル如クデ「アルヲウル」（彼ノ第二ノモノ）ナドト云フ言葉デカラカッターシテ居ルコトガアリマス。情人ノ（独身者全志デナイ所ノ）稍永続的ナモノ位□ノトコロデセウ。

○ブイブイハ御説ノ通りデ、ブイブイト云フ語ハ広義ナ場合ニ□普通ニ用ヒラレルノデアリマシテ、例ヘバ血縁ノナ関係以外ニ、特ニ親シイ者等ガブイブイノ約束ヲスルコトサハアルノデアリマス。デスカラ正シクハメゲヤギー間ノ間デ情事が禁ゼラレルト云フノガ本当ナノデスガ、其ノ様ナ情事以外ノ親愛礼節ニカタイ者ヲ「エ クックネイ ブイブイ」（兄弟——兄妹ニ通ジテ——関係ニ堪能）デアルト云フ言葉ヲ普通ニ用ヒテ、寧ロ「エ クックネイ メゲヤギー」ナドト云フ言葉ヲ使フト却テ露骨トナリ、滑稽トナル如クナノデアリマス。

其ノ意味デ、義ブイブイノ如キ関係ガ異性間ニ成立スルト云フコトハ滑稽ナ、有リ得ナイコトデアリマス。但シソレハ「赤ノ他人全志ノ間ニ於テ」デアリマシテ、縁戚関係ヲタドッテ異性ブイブイ儀礼禁忌ヲ守ルコトハ、随分広イ範囲ニマデ及ブコトガアリ、全時ニ反対ニ当然義ブイブイ（異性）ヲ結ブベキモノデ、是レヲ放棄シテ居ルモノモア

ルノデアリマス。私ハ此ノ方ノモノヲ義プイプイニ対シテ、準プイプイト呼ンデヨイト思ヒマス。

デスカラ注意スベキコトハ、厳密ナル意味ニ於テハメゲヤギー関係ノ間ニ相互ノ儀礼禁忌ガアルノデサガ、「ボヌノ　メゲヤ□イ」（我ガ異性同胞ナル故ニ）ト云フヨリモ、「ボヌノ　プイイ」（我ガ同胞ナル故ニ）ト云フ言葉ノ方ガ普通ニ用ヒラレ、猶、更ニメゲヤギーナル語ハ、場合ニヨッテハ却テ露骨過ギテ礼ニ添ハナカッタリ、滑稽ニナツタリスルコトガアルコトデス。

以上、要ヲツクサナイ恐レガアリマスガ、オ答マデ。

発信 中川善之助，中島幹夫，阿刀田研二，

朝食前ニ皆デ国民角力道場ノ方マデ散歩シテ来ル。道々何処デデモ鶯ノ声。鶯バカリデハナク、他ノ鳥ノ声モ遠近デキコエルケレド、ドレガ何鳥ノ声カワカラナイノデ、只々可愛ラシク□□^{声ヲ}聞クダケデアル。

叔父様十時過ギニ迎ヘノ自動車デ帰ッテユカレル。

戸隠ハ寒イトコロ、昼寝ヲスルニ障子ヲ閉メキル。ソレハマタ馬虻ガ多イカラデモアルガ、日中雨モ降ラナクテモ障子ヲシメテ居テ丁度ヨク、ソレドコロカ布団ヲ敷キ、夜具ヲカケテモ暑クナイ。却ッテ畳ノ上ニ只転ガッテハ冷々トスル。虻ガ居ルカハリニハ蚊ガ居ナイノデ、夜モ蚊遣香ヲトモスコトモナク、蚊帳ヲツルコトモナイ。

米ガ出来ナイ所デハアルガ、三度ノ飯ハ純綿ノ白米デ、口ノ中デ忽チ餅ニナッテユクノハ、近来楽シイコトデアル。

名物ノソバハ名物ニタガハズウマイ。

デコボト云フキノコガ毎日ノヤウニ出ル。

鶏ヲ此ノ辺リノ農家ニ一羽モ見ナイ。鶏ニ食ハセル米モ□□^{ママ}麦モ出来ナイカラダト云フ。馬ダケハ居ルガ、豚ノヤウナ家畜モナイ、山羊ヲ二頭見タ。

小サナ子供マデガ皆モンペヲハイテ居ルガ、ココノモンペハ下ノ方ガパッチノヤウニ細クシマッテ居テ、如何ニモ軽サウニ見エル。若イ、マダ□^{ママ}背丈バカリ伸ビテ肉ノツカナイヤウナ娘達ノ此ノモンペ姿ハ実ニスマートデ、キュロットデモハイテ居ルヤウダ。

十二日 水　ヨク晴レテ寒イ、午後稍暖カクナル。

朝食前ト夕食前ト散歩。

朝ハ以前ニ自然放送ノアッタ「小鳥ノ森」ノ方ヘ、午後ハ下ノ方ノ雑木林^[ママ]の中ヲ。夜ハ警戒警報ガ出タサウデ、早ク戸ヲ閉メ、電気モ暗クサレル。

小鳥ノ森ノ朝日ハ気持ヨク、鶯ガアッチデモコッチデモノベツニ鳴キ、其ノ中ニ□^何名

モ知ラス小鳥が鳴ク。何ト云フ蟬カ、ジージー蟬トアブラ蟬トノ間ノヤウナ声デナク蟬が居ル。散歩ニハ三人トモスケッチ・ブックヲモッテ出テ、一枚ヅツ風景ヲスケッチシテ来ルコトニシテ居ル。

十三日 木 晴,

昨日ハ早朝カラ、カラリト晴レテヒドク寒カッタガ、今日ハ朝ノウチドンヨリシテ暖カカッタ。朝ノオ茶ヲ入レテ来タ女中ガ、コノ辺デハ、コノ様ニ朝少シ雲ガアッテ暖カイ方ガ、オ天気□ワヨロシイノデスト云ッタガ、マッタク間モナク晴レテ、終日少シモ風ガ吹カズ暖カデアッタ。朝ノ散歩ハ昨日ノ雑木林ニ行ッテスケッチシ、夕方ノ散歩ハ奥社道ヲ下リ坂ノアタリマデモ行ッテクル。食ガススム。

夕方、方々ノ家デオ盆ノ迎ヘ火ヲタイテ居タ。此辺デハ白樺ヲ用キル由。

十四日 金 晴,

今日十四日ガ中社ノオ祭りデ、明十五日ガ奥社ノ祭、翌十六日ガ宝光社ノオ祭ナサウデアルガ、中社ハ焼ケテシマッタノデ、今日ノ神楽ハ宝光社デアッテ居ル由。宿ノ女中ニ云ハセルト、中社ノオ祭ハ最モ盛ナモノデアッタガ、火事ト共ニ、巫舞ヲハジメ、三劔舞、弓矢舞、岩戸開ノ舞、吉備楽舞等ノ面、衣装等全部消失シテシマッタノデ、今年ハ何一ツ出スコトガ出来ナイデ、大変ニサビシイトノコト、ソレヲ思フト胸ガツマル思ヒガスルト云ッテ居タ。ソレデモ八月十三日ニ夜通シ踊ルト云フ地藏盆ノ踊デモアルノカ、夜ニナッテ ピーピー トントコントコト オソクマデ囃ノ音ガシテ居ル。

十五日 土 晴,

今日ハ奥社ノ祭礼デ、十時頃カラ□式ガアルト云フノデ、道隆ト二人デ八時半頃カラ出カケル。昨日□朝ノ散歩ニ、綾子ガ行カナカッタノデ、道隆ト二人デ奥社ノ一鳥井マデ行ッテ来タノデ、大概ノ道ノリハ祭シテ居タノダガ、鳥井カラ奥ハ案外長ク、其上山門— 神社ニ山門モ変ダガ、此処ハ昔カラ神仏混合デ長イコトアッタ様ナ関係カ、朱塗リノ〔随神門〕山門風ノモノガアッテ、其処ニ左大臣、右大臣風ノ木像ガ、仁王様ノ様ニ両側ニ並デ居ル— ノ中ハ古イ大キナ杉ノ並木道ニツヅイテ、急ナ坂道ガ戸隠山ノ中腹マデ上ッテ居ルノデ、案外大変ダッタ。グズグズ登ッタノデ、社ニ着イタノ八十時ヲ一寸マハッテ居タ。参詣ノ人々モ旅ノ人達バカリダシ、神楽殿モナク、^{〔神〕}官主サン達ハ社務所ニ何人カ居タガ、オ祭ラシイ気分モナイノデ、暫ク上デ休ンデオリテ来テシマフ。帰り道デ大分村人ラシイ男女ノ群ニ行キアッタガ、其ノママ十一時半前ニ帰ッテ来テシマフ。

丁度オ祭時ニ来アハセテ居ナガラ、何モ見ラレナイノハ残念ナ気ガスルガ。

夕方前三人で散歩に出タガ、今日ハイツモノ散歩ノツモリで帽子モカブラズニ出テ、日中ノ強イ日ノ下ヲ永イコト照ラサレタセイカ、何ダカ頭ガ重イ。

十六日 日曜日 晴、午後三時前スバラシイ驟雨アリ、日暮ヨリ雨ニナル。

宝光社ノ祭例ヲ見ニ、十時頃カラ綾子ト順坊ヲツレテ宝光社ニ行ク。行ツタラ、モウ降神ノ舞ガハジマツテ居タ。続イテ身漉ノ舞ガアリ、巫舞ガアリ、御返幣舞ガアリ、弓矢ノ舞ガアリ、最後ニ岩戸開ノ舞ガアツテ十二時前ニ終ツタ。衣装ガスツカリ焼ケテシマツトキイテ居タガ、ソレデモ何処カラ集メラレタノカ、一応衣装モ整ツテ居タ。楽人モ少イシ、見物人モ堂ニ一並ビ座ツタ程度デ百人ソコソコ位ダツタラウカ。戸隠社ノ祭トシテハ淋シイモノダツタ。殊ニ吉備楽舞ヤ倭舞ガ全然見ラレナカッタノハ残念ダツタ。

大本願ノ中村氏カラ、珍シクモカステラトユカリヲ届ケテクダサル。宿ノオヤツハ奥社ノ供物ノソバラクガンダツタ。

十七日 月 終日雨降ツタリ止ンダリ。

終日降り□コメラレテシマフ。寒イ。

日暮、綾子ノ友達ノモモエサンノ義弟〔山井忠サン〕ト云フ若イ軍人サンガ来ル。

十八日 火 終日雨。

降りコレラレテ一日室ニ閉ヂコモツテ居ル。

〔発信〕 後藤禎二、土方道子、土方久顕・貞久・允久、中沢英子、川名敬子、山口歌子、中島敦³⁴⁷⁾、竹下源之介、甘露寺方房、三沢寛、西尾善積、羽根田弥太、

十九日 水 降りモシナカッタガ、終日ドンヨリトシテ、ヒヨヒヨト底冷エガスル。夕方小雨。

朝、綾子ノ友達ノ Dongtang [原母初子嬢] ト云フ人ガ突然来ル。□□午後ノ散歩ニ Dongtang ト弟サントヲ誘ツテ皆デ、小鳥^[ママ]ノ森ノズット向フマデ散歩。

午、Dongtang トオ母サント来テ日暮マデ話シテ行ク。

朝食前ノ散歩ハ、日ノ御子社カラ旧道ヲ、杉並木□ノ切レル所マデ、橋供養塔マデ行ツテクル。

二十日 木 晴。

忠チャント Dongtang ノ弟ト四人テ朝食前、奥社旧道カラ角力道場ノ一方ヲヒトマハリ。午後オ風呂ノアト Dongtang ガ来ル。夕方、雄チャンモ来テ、夕食前ニ又日ノ御子社カラ向ラーマハリ。

夜又、Dongtang 姉弟が来テ十時マデ大ゲサニ遊ンデ行ク。

書キモノハ、アト一章ト云フ所マデ漕ギツケル。

発信 中沢英子,

二十一日 金 朝カラスバラシイ晴,

朝、宝光社カラ七時ノバスデ Dongtang トオ母サントガ帰ルト云フノデ、皆デ送ッテ行ク。夕方ノ散歩ハ上水保安林ノ奥ヘ。順チャンノ姉サンモ誘ッテ。

受信 竹下源之介,

二十二日 土 晴, 昨日ヨリ稍暖イ,

朝夕ノ散歩, 一点ノ雲モナイ秋ノ空, 瑠璃ノ空, 昨日モ今日モ, 昼前ニ一人デ, 山ヲ林ヲドコデモカマハズ歩キマハル。

受信 土方愛子, 柴山昌生,

世田谷ト諏訪□カラ手紙ガアッタノヲ知ラナイデ, 返送シテシマッタ由。

二十三日 日曜日 晴, 夜雲多ク月カクル。

朝ハ綾子ト二人ダケデ, 裏山カラ道場ノ方ラーマハリ。小包造り。

夜ハ宝光社デ地藏盆ノ踊ガアルト云フノデ, 九時頃カラヨシササント静子サント三人デ行ッテ見ル。ソレデモ早過ギテ, 十一時ニナッテヤット招魂社ノ下デ獅子神楽ガハジマリ, ソレガ役ノ行者祠デマタ舞ハレテカラ, 十二時半頃ニナッテ盆踊ガハジマッタガ□, 戸隠甚句デハナクテ, 瑞穂音頭ダッタノデ, 二三分見テ一時半頃ニ帰ッテケル。

受信 中島敦, 大本願,

青クルミ (旋頭歌)

✓村ノ子ガ 道ニウヅクマリ 石モテクダケル
青キ実ノ キタナキタナラシ 問ヘバクルミノ実

✓青クルミ 石モテクダキ クダキテハ食フ
村ノ子ノ 手サヘ口サヘ 黄色ニ染ミテ

✓村ノ子ガ 拾ヒ来テクレシ 青クルミノ実
子ラニナラヒ 石モテクダキ 食ヘバゾウマキ

二十四日 月 晴,

明日帰ルコトニシタノデ, 小包五ツモッテ, 静子サンニモ来テ貰ッテ, 十時ノバスデ

宝光社マデ行ッテ小包ヲ出シテクル。朝バスマデノ時間ヲ綾子ト中社ニオ詣リニ行ク。隣リノ五斎神社ノ小社ニモ行ッテミルト、其ノ隣リニハ又、菅公様ガアリ、其ノ又向フニ宣澄社ガアッテ、宣澄像ノ古ビタ石像ガアリ、其ノ又横一段高イ所ニ飯繩様ガ、コレハ祠ハナクテ石ノ浮彫——一面六臂像ガニ基ト、何トモワカラナイ羽ノアル神像ガニ基、只其ノ前ニ小サナ白旗ニ飯^糰繩神社トアルノデ、ソレト知レル。

中社ノ石段ノ日^{ママ}ニハ、モーツ小サナ日吉社ガアル。ドレモコレモ社トハ云ヘナイ、小屋ガケノ様ナモノデアル。

綾子ハ又風邪ギミデ、午後ハ本式ニ寝コンデシマフ。夕方ノ散歩ハ一人デキッチリ四十五分間、山ノ中ヲスタスタト歩イテ来ル。

夜、雄チャンガ来ル。

受信 中沢英子

□旋頭歌 ト短歌ト

✓戸隠ノ 森ノ朝道 朝日スガシミ 行ケバカモ ココダモ聞コユ ラチコチ鶯

✓戸隠ノ 山ノ高ミユ 裏ニ表ニ 見ハルカス 朝日イッパイノ 連山カシコ

✓飯繩ト瑪^瑠璃^瑠、怪典ト 並ビ立チ、瑪瑠ノ嶺ニ 雲ノオホヘリ

✓今日ハ晴レテ小鳥ノ森ニ、鶯ノ声ヲナミシテ蝉鳴キサワグ

✓登リ登リ汗バム頃ヲ 国有林ノ樅ノ木立ニ 鳴キ交フ山鳩

✓戸隠ハ水清キトコロ、泉水ノ□□小瀧ニ岩魚住ミ 馴レニケリ

✓ココラアタリ貧シキ農家ノ家毎ニ 花草植エテ小鳥飼ヒ居リ、

✓賤ケ家ノ軒ニ籠垂レ頬赤ヤ小雀^{コガラ}、ヒワ、コマヤ飼ヒ馴ラシタリ、

✓朝露ノ道行キケレバ 日ヲヌクミカ、熊笹ノ上ニキリギリス鳴ク

✓キリギリス ハシケチノ中ニ捕ヘラレ 恐レモセズテ 鳴キ鳴キ居ルモ

✓畑道ヲソゾロニ行ケバ サルモモヒキノ 色白キ 乙女逢ヒケリ 籠ニミョウガ子

✓戸隠ノ村ニハ多キ トウスモモノ木 猿ノ如 子ラガ登リテ 青キ実ヲ食ヘリ

✓カラマツノ林ト文ニ 歌ニ聞キケル カラマツノ林アリケリ 戸隠ニシテ

✓右ノ手ノ 越後路ニサシカカリケレバモ 原ヒラケ 松蟲草ノ 咲キアフレケル

✓朝ナユフナ 晴レ間曇リ間 ソゾロアルキニ 見ル山々 昨日ハ遠ク 今日ハマノア
タリ

✓戸隠ノ 手打チソバウマシ膳ノ上ニ 岩□魚ノ大キトヂコボウニ味噌ト

✓苺リ込ミノ 庭ノ樅ノ木 ヨシトミレバ ハツハツニ 朱色□ツツマシキ シガ実カ
ナシモ

長歌

✓カラマツノ林ハアレド, モミノ木ノ森ハアレドモ, 御社ノ 古杉ノ森ハ カシコカリケ
リ

返歌

戸隠ニ多キモノ, 社 杉木立, 古杉ノ森ハ カシコキモノゾ

二十五日 ^月□火 晴,

十時ノバスデ山ヲ下リ, ○時十三分ノ汽車デ東京ニカヘル。六時半上野着, 八時前柴
山サンニ帰り — 百合チャンガ来テ居ル — 夕食, 風呂, 十二時マデ叔父様ト話シテ,
宿ル。十五夜ノ月ヨシ。

二十六日 ^火□水 晴, 夜雲多シ。

早朝, 英子サンノ所ニ行キ — 忠久, 大学ニ入レル — 久顕サンノ所ニカハッテ朝食。
祐天寺姉上, 丸林サンノ息子ガ入院シテ居ル。

夕方カラ豪徳寺ニ行キ, 八時頃敬子サント二人デ後藤ノ所ニ行キ, 十時頃辞シテ帰ッ
テクル。

受信 貞久ガ葉山カラ絵葉書, 忠光ガ千葉カラ絵葉書, 高崎ヤス,

「太平洋」, 「民族学研究」穢屋, 抜刷,

二十七日 ^水□木 晴, 朝一度, 午後二度, 驟雨。

午後, 太平洋協会ニ行ク。平野氏, 清野氏ニ面談, ボルネオ行キハ十月中旬ラシ。笠

間氏ニ紹介サル。其他若イ人々ニモ。

カハリ綱町ニ行キ、夕食ヲ馳走ニナツテ九時半頃帰ッテ来ル。

二十八日 金 晴、朝カラ何度モ驟雨、風ニ乗ッテクル。

昨日夕方、ラヂオデ今日嵐が来ルコトヲ報ゼラレテ居タガ、ソシテ雲ガ多ク、時々変ナ時化メイタ風ト雨トガ来テハ過ギタガ、ソノママ夕方ニハオサマツテシマ□フ。外出ヲ見合ハセ、朝カラ午後マデ、英子サンノ所ト柴山サンデ過ゴシテシマフ。夜、兄上ガ来ラレ、八時頃カ後藤ガ来テクレテ、一緒ニ英子サンノ所ニ行ク。

受信 後藤貞二、羽根田弥太（戸隠ヨリ廻送）

二十九日 土 スバラシイ晴。暑。

一日家ニ居テ机ニツイテ居タガ、暑クテ、サワガシクテ、仕事ハアマリハカドラナイ。

三十日 日曜日 曇、午後雨ニナリテ止マズ。

綾様、フク子、ヤチ子、フクチャンノ次女。

敬子サン、晩、久顕サント三人デ渋谷ニ飯ヲ食ヒニ出ル。

発信 高崎ヤス

三十一日 月 曇後晴レシモ雲速ク、風強シ。

終日家ニ居テ、書物アマリハカドラズ。

受信 竹下源之介

~~~~~  
戸隠山ニテ

✓今日ハヨク晴レテ遠山山ニ霽色カカレル

✓今日ハカラリト晴レテ

近キ杉ノ森、遠キ樅ノ森、カラマツノ森 雑木（ザウキ）ノ森トカサナリツヅケリ

✓戸隠ハ寒々キトコロ八月ナカバ 昼寝スト 虻追ヒ出シテ障子ヲ引クモ

✓戸隠ノ此ノ山ノ家ニヤサシキ小田巻 シツヤシツ 小田巻草ノ花ハナケレド

✓随神門ヲ這入レバ大キ杉木立ナリ 古杉ノ

## 九月

一日 火 スバラシイ晴レ日ニナリ、天高く雲モナクナリシガ、風ハゲシ。夕方風風イデヒドク暑シ。

昼マデデ、ヤット「サトワル生活記録」ノ最後ノ章ヲカタヅケル。

午後、東横ニ出デ後藤ノ処ニ行ク。

塚野サンノオバアサンヨリオ祝物。

二日 水 晴、暑、無風、

朝カラ買物ニ出テ昼ニ帰り、一寸昼寝シテ十五時ニ太平洋協会ヘ行ク。皆集ッテ居リ、タワオ産業ノ伊藤義助氏ノ話。

夜、久頭ト英子サンノ所、柴山サン。二十四時ニ帰ッテクル。

受信 山井忠、原母雄次郎、「太平洋」、発信 山井忠、原母雄次郎、

三日 木 晴、無風、暑、

朝、柴山サンニ行キ、綾子ニ手伝ッテ貰ッテ十三日ノ招待状書キ、書キキレナイ分ヲ綾子ニ引受けテ貰ッテ、昼食ヲタベテ帰ッテ来、一寸昼寝シテ□□十五時半ニ太平洋協会ニ行キ、マレイ語ノ講習ヲキキ、終ッテ皆デ十八時頃鉄道ホテルニ行ク。今度ボルネオニ行ク連中ノ顔ツナギト、打合ハセノ集リ、四人程遠イ人達ガ欠席シタダケデ、協会側トアハセテ二十人ホド集ル。二十二時前ニ帰ッテ来ル。

受信 阿刀田研二。

四日 金 曇、ヒヨヒヨト涼シク、午後ハ小雨降り且ツ止ム。

朝、綾子ガ一寸来ル。午後、綾子ノ所ニ頼ンダ招待状ヲ取りニ行ク。十四時ニ帰ッテ来ルト、間モナク綾子ト昭子ト来ル。二人ガ帰ルト後藤ガ来テクル。招待状ノ上書ヲ書イテシマヒ、十六時頃カラ二人デ軍人会館ニ行ッテ、十三日ノコトヲ大体キメテ来ル。

夜、英子サンガ来テクル。

✓今夜雨ハヤミシモ秋ノ如 寒クシヅケク

家ノ中ニ高々トシゲシゲトコホロギガ鳴ク

✓九月ニナッテ此ノ庭ノ朝顔ノ咲キノサカリカ

<sup>瓶</sup>□石榴ノ木ニ 銀杏ノ木ニ 高々トカラミツキ

朝毎ニ何十ト云フアカイ花、空色ノ花

✓雨ガナカッタ夏ノ間 焦ゲツクヤウニ咲キホコッタ日廻ノ花

此ノ頃ノ秋メク雨ニ首タレテ

花ビラモ<sup>スクナ</sup>少クヨゴレタ ヒマハリ

五日 土 終日ドンヨリトシテ ヒヨヒヨト寒ク、糠ノヤウナ雨が降ツタリ止ンダリ、英子サンガ来テケル。

十四時頃思ヒキッテ出カケ、三沢ノ処ヲ訪ネル。二十二時二十分帰宅。

発信 土方梅子、三沢寛、中島敦、山口昇、土方玄味、山井忠、竹下源之介、

受信 「南□島巡航記」大和書店ヨリ。山口岩夫（パラオ）、□山井忠。

近所近辺ノドコノ家カデ、朝カラ晩マデ大キナ音デラヂオガ鳴リツツケテ居ル。私ラシイ夜位ヒ、ラヂオ放送ヲ止メレバイイ。コホロギノ声ノ方ガ余程イイ。

六日 日曜日 曇、昼前暫ク小雨アリ。

九時半頃家ヲ出テ、敦チャンヲ訪ネル<sup>348</sup>。敦チャンハ寝テ居タガ、別段悪イノデハナカッタノデ直グ起キタ。原稿ハ全部□目ヲ通シテオイテケレタノデ、一通り見テ貰ッテ帰ッテケル。十四時。

昨日英子サンガ来テ、百合チャンカラ柴山ノオヂサマ、オバサマト一緒ニ招待サレテ居ル由ヲ言ヒ置イテ行ッタノデ、一寸英子サンノ所マデ行ッたら、早メニ行クカラトノコトダツタ由ナノデ、十五時半頃柴山サンニ行ク。川上ノカヅ子サンガ来テ居タシ、洋子チャンヲアヅカッテ居テ、ユック□リ行カウト云フ。十八時近クナッテ出テ行ク。百合チャンノ帯ノ祝ダツタノダツタ。

二十四時前ニ帰ッテ来ル。

受信 久保田□公平、家入満洲雄、

七日 月 曇、後晴、

出ヨウ出ヨウト思ヒナガラ、一日グズグズシテシマフ。

夜、後藤ノ所ニ行ク。スグアトカラ園チャント敬子サント帰ッテケル。パーマネントヲカケニ行ッテ、一日カカッタ由。

八日 火 晴、ヒドク暑イ。

十一時過ぎ、放送局ニ久保田君ヲ訪ネタガ、居ナイノデ本郷ニ出テ食事シテ大学ニ行ク。人類教室ニ杉浦君ヲ訪ネタノダガ、相憎国ニカヘッタトテ、八幡君ダケ居ル。オ茶ノ□水カラ神田ニ出テ十六時半頃帰ル。十九時前竹下君ガ少シバカリ校正ヲモッテ来テケレ、二十時頃マデ話シテ帰ッテユク。

九日 水 晴, 暑,

家ニ居テ荷物ノ片ヅケ。夜, 柴山サンニ行ク。

十日 木 晴, 暑,

家ニ居テ荷物カタヅケ。

午後三時過ぎガ, 梅サンガ祝物ヲ持ッテ来テクレ, 全時ニ久保田君ガ尋ネテクレ, 一寸オクレテ敬子サンガ来ル。

夜, 久顕サンガオ別レノ酒盛ヲシテクレ, 丁度祐天寺ノ兄モ来テ居テ, キッチリ二十四時前マデ。

受信 高松邑行,

十一日 金 晴, 暑,

朝, 後藤ノ所ニ行ク。宴席ノ件, 後藤モ弟サンノ件デ軍人会館ニ行クト云フノデー緒ニ夕方行クコトシ, 昼前ニ川名サンノ所ニ行ッテ来ル。敬子サント一緒ニ後藤ノ所ニ引カヘシ——敬子サンハ御飯ノ焚キ方試験——夕方, 後藤夫婦ト一緒ニ軍人会館ニ行キ, 銀座ニマハッテ二十一時ニ別レテ帰ッテ来ル。

柴山サンカラオ祝品。

受信 山井忠, 大和書店(校正)

十二日 土 晴, 暑,

朝, 床屋, 午後, 東横ニ印刷物ヲトリニ行ク。

明日来ル人達,

柴山昌生夫妻, 道隆, 昭子, 妙子, 三沢寛夫妻, 中島敦, 山口歌子, 久俊, 英子, 久顕, 土方梅子, 与平, 道子, 忠久, 忠直, 忠光, 忠義, 玄味, 後藤夫妻, 九

亀田豊治朗夫妻, 加藤節子, 宮寺嘉一, 千葉宗八夫妻, 稲葉真理子, 峰慎平夫妻, 伊藤千代人, 寺田綾子, 川名なか, 英光, 嵩久,

十三日 日曜日 晴, 雲多ク, 暑シ,

九時前ニ久顕サント英子サンノ処ニ行クト, スグニ兄上モ見エ, 九時過ぎテ後藤ガ来ル。

九時半ニ皆デー緒ニ軍人会館ニ行ク。川名側ノ人達ハ早クカラ皆来揃ッテ居リ, 予定通り, 十一時ニ式, 十二時過ぎニハオ客サン達モ集リ, 十二時半会食。

十五時五分ノ汽車デ立ツ。後藤夫妻ト英サント嵩チャンガ東京駅マデ送ッテクレル。

小田原カラ登山電車ニ乗リカヘ, 丁度十八時ニ強羅ホテルニ入ル。

夜, 雲ガ多ク嵐メイタ風ガ吹ク。

十四日 月 曇，晴。雲ガ非常ニ多ク，終日間ヲオイテハ嵐ノヤウナ西風ガ吹ク。夜ニ入ッテ暫ラク雨アリ。

朝食前，強羅公園ノ方ヲ散歩シテミタガ，裏ノ早雲山ガ近々ト不思議□ナ形ヲシテ居ル外ニハ，一ツモ眺メガナクテツマラナイ。春カ秋デデモアツタラ，モ少シ氣持ガイイノダラウガ。ソレニシテモ強羅，強羅ト，ドコガソンナニイイノカ，チットモヨクナイ。

昼前原稿校正。午後昼寝。四時ニオ茶ヲ飲ンデ，夕方ノ散歩ニ出ヤウトシタガ，雲ハマスマス低ク風ガヒドイノデトリヤメ。

十五日 火 朝カラ<sup>曇</sup>□雲ガ多カッタガ，昼前カラマルデー面雲ノ中ニ入ッテシマヒ，ソノウチニ風マデ吹き出シテ，雲ノ雨ガ横ニ降り上ニ吹き上ゲタガ，遂ニ本物ノ雨ニナッテシマフ。終日，前後ノ山ハ勿論，ホンノ目ノ下ノ森モ町モ何モ見エズ，夜マデ雲ノ中デ暮シテ居ル。

朝ノ散歩ガ出来タダケガトリエダッタガ，オ蔭デ校正ハ夜マデカカッテ，スッカリヤッテシマフ。明日ハ元箱根マデ出ル予定ナノデ，何トカシテ雨ダケ降ッテクレナイヨウニト思フ。

ホテルデハ朝ノ日本食ノマ□ヅサ，ト云フヨリ米ノ悪サ。ソノカハリ，昼ト夜ノ洋食ハ，ウマクテ量ガアッテ——但シ，スープダケハ全ジモノバカリ出ル。ソレニシテモ材<sup>料</sup>量ハ相当デ，オックス・テイルガアリ，小牛ノ肋ノチョップガアリ，チキンノ大切レガアリ，肉トハムノかまぼこ？ガアリ，鮮魚ノジャンボールト云フ，シャレタモノマデ出テ来ル。ソシテ其ノ上，十五時過ギノオ茶ガマタ，ケーキトトーストデ，ケーキハ上物，トーストハ上手□ナ焼き方デ，若シモ今少シバタガヨカッタラ，スバラシイト云ヘヤウ。紅茶ガカップノ半分位シカナクテ，砂糖ヲムコウデ入レテ来ルノガ，甘クテベタツク様ナノニハ閉口ダガ，ソレデモ此ノオヤツハ楽シイ。紅茶ノ量ガあまり少イノデ，オカハリヲタヅネタラ駄目ダト云フ。ケチクサイトコロダ。食□堂<sup>（婦）</sup>ボーイモ女バカリ，室ノ世話モ女中サンガスル。女中サンハ出テ来ル時ハナカナカ愛<sup>（婦）</sup>驕ガアリ，氣持ヨク物ヲキクガ，引込ンダラ最後，一向ヨケイナコトハシテクレナイ。

十六日 水 曇後晴，雲多シ。

昨日ノ続キノ雲ガ，朝カラ山々ヲカクシ，空ヲカクシ，雨ハ降ラナイケレド，ガスノヤウニタレコメテ居ル。ソナナ雲ガダンダンニ切レタリ，マタ現ハレタリスルノデ，今日ハケーブル・カーデ早雲山ヲ登リ，バスデ湖尻ニ出テ，ブラブラシテカラ遊覧船デ箱根ニ夕方前ニ入ル心算ダツタノヲ，予定ヲカヘテ九時前ニホテルヲ出テ電車デ宮ノ下ニ出テ，ソコカラバスデ十時半過ギニ箱根ニ出テ来テ，箱根ホテルニ入ル。

昼食後，敬子ト元箱根ニ出，箱根権現様マデ行ッテクル。十五時ニホテルニカヘリ，オ茶。ホテルハ昨日マデ修善寺カラ移ッテ来タ独逸人デ満員ダツタノガ，昨日皆引上ゲ

タ所ダトテ非常ニスイテ居リ、私達ノ□室ハ別館階下ノ一番ハジノ湖水ノスグソバデ、ソレハ静カデ、目ノ前ニ湖ト向フノ山々が横タワッテ居ル。強羅デハ雲ノ中ニ包マレテシマッテモ、一向寒クナイドコロカ、夜ナドハ暑クテ毛布モカブラズニ寝タノニ、ココニ来ルト、真昼ト云フノニシンシント寒クテ、長袖ノシャツヲ着込ダガ、ソレデモタ方マデ上着ヲスグ気サヘシナイ。

客モ少イノダガ——向フノ方ニハ外人ノ若イ男達ノ二十人程ノ群ガ居タガ——実ニ静カデ、未ダ紅葉ノ色ハ全然ナイガ、眺メハ何カ秋メイテ、ジツ湖水ヲ、山々ヲ見テ居ルト、悲シイヤウニサビシイ。セキレイ（鶴鴿）ガ二羽三羽鳴イテハ、アチコチト飛ンデ居ル。時々静カナ湖ノ水ヲ静カニユサブッテ、客モナイ遊覧船ガヤッテ来テハ、空ッポノママ帰ッテユク。

夕方、雲ガ多イノデ早クカラ暗クナッタ水ニ、一艘二艘ボートヲ乗り出シテ、ボンヤリ釣ヲシテ居ルモノガアル。

元箱根ニ出ルマデノ昔ノ杉並木道ハ実ニヨク、其ノ所々カラ眺メル湖水ト山々トハ全ジヤウニ氣持ガヨイガ、元箱根ノ町ニ入ルト、ココハマタ俗ッポクオ土産屋ガ軒ヲナラベ、雑多人々ガ多ク、料理屋ゴトニ食事ヲサソヒ、道々少シ行クトハ大道写真屋ガ写真ヲ撮ラセテクレト出テクル。権現様モ何時建テ直サレタノガ、新ラシヤカナ朱塗ガ一向サビテモ居ズ、杉並木トハチガッテ、少シモ床シクナイ。

一個二十八銭ト云フ二十世紀梨ヲ四ツ買ッテ帰ッテ、トーストト紅茶トミルクノオ茶ヲ持ッテ来テ貰ッテ、二人デ差シ向ッテ居ルト、敬子ハボンヤリ前ノ湖水ト山トヲ見ツメテ、スッカリセンチメンタルニナッテシマッテ、何ヲ云ッテモ、話シテモ、何かカニカ答ヘナガラ、笑ヒナガラ、ソレデ居テ涙ヲボロボロトコボシテ居タガ、ソノウチニ□寝台ニモグリコンデ、顔マデ毛布ヲカブッテ寝テシマフ。

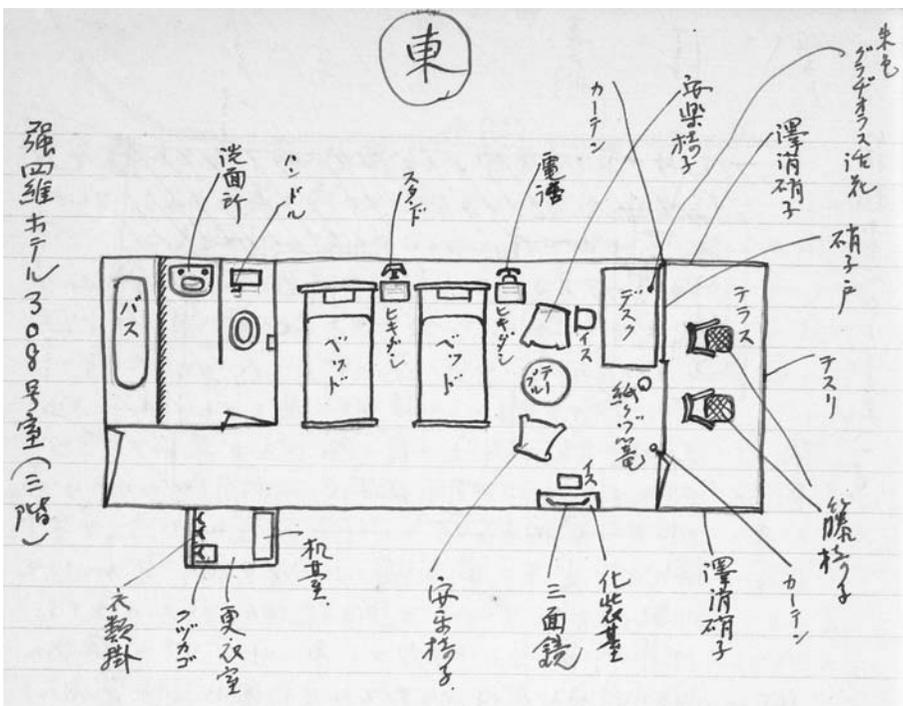
十七日 木 曇、後晴レシモ雲多シ。

朝食後——朝食ハトースト・パントオトミールト茹卵トホット・ケーキトコーヒーデ、□頗ル御機嫌ガイイノdealル。ココノコーヒーハアマリウマクハナイガ、強羅ノインチキコーヒートチガッテ、兎モ角モ本物デアリ、ソノ上ココデハ不思議ニミルクガ豊富ナノデ、アフタヌーン・ティーノ時モ惜シゲナクミルクヲクレルノdealル。——九時十分ノ遊覧船デ湖尻ニ出、九時四十分ノバスデ大涌谷入口マデ行ッテ、ソコカラ実ニ氣持ノイイ、人一人居ナイ大キナ補装道路ヲ歩イテ登ル。朝ノウチ降り出スカト思ハレタ雲ガダンダン薄クナッテ、ソノ頃ニハ実ニ氣持ノヨイ秋ノ朝トナッテ居タ。

十時半ニモナラウトシテ居ルノダカラ、朝ト云ッテモモウ日ハ高イノダガ、ソレニモ拘ラズ、秋ノ朝早ノヤウナ空氣デアリ、日差シデアリ、坂ヲ登ッテモ汗バミモセズ、寧

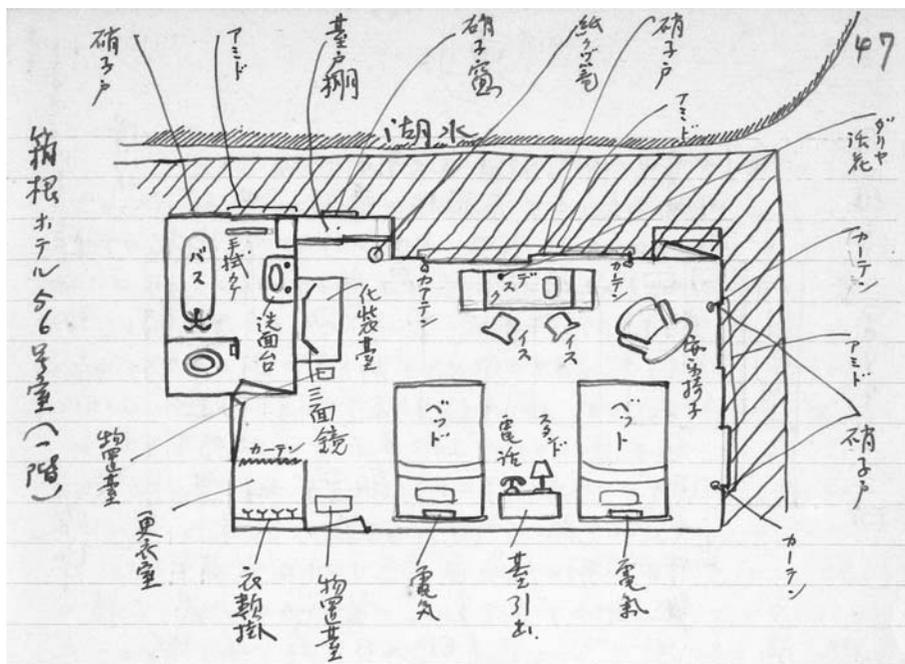
ロ日ニアタルノガココロヨイノデアッタ。ブラブラ歩イタガ、二十五分程デ大□涌谷ノ頂上ニツイタガ、ソコマデ行クト反対ニ早雲山ノ方カラ登ッテ来タ人々ガ、大変ナ数ナノデ驚イテシマフ。ソコカラ見下ス芦ノ湖ノ□眺メハ大変美シク——スケッチ・ブックヲ出シテ大ザッパニスケッチスル。ソレカラ右手ニアタッテ長尾峠、乙女峠ノ向フニ、丁度雲ガ切レテ高々ト藍色ノ富士山ガ現ハレタノガ、マタ実ニ美シカッタ。ソレカラモ富士山ハ雲ニカクレタリ現ハレタリシタ。

前登ッテ来タ道ヲ——大涌谷ニ来タ沢山ノ人々ハ不思議ニコッチニハ来ナイデ、向フヘ下リテシマッタノデ、コッチノ道ハマター一人ノ人ニモ逢ハナイ、静カナ晴々シイ□秋ノ道デアル——オリテ来ルト、丁度湖尻ニ行ク空バスガ来タノデ待ツコトモナク、十二時十五分前ニ湖尻ニカヘリツク。ソコカラ元箱根マデヲ山腹ヲ走ルバスヲ利用シテ、見下ス芦ノ湖ノ眺メヲ満喫スルツモリダッタノガ、アヒニク元箱根行キノバスガ出ナイサウデ、一方ハマタウマイ事二十二時ニ□出ル遊覧船ガトマッテ居タノデ、再ビ遊覧船デ元箱根ニカヘリ、ソレカラ歩イテホテルニカヘルト、昨日カラノ寒サガ、ヤット上着ヲスギタイ暖カサニナル。十三時デアル。ホテルノ昼食ガウマイ。食□後一時間程寝テ、十五時半ニ昨日ト全ジオ茶ヲイレテ貰ッテ、夕食前ニハ又、今度ハ箱根峠道ヲ三十分程モ登ッテミル。夕暮ガ静カデ、ネムッテ行クヤウナ鞍掛山カラ屏風山、二子山、駒ヶ岳、神山ノ連山ニカコマレテ、下ノ方ニ淋シイ芦ノ湖ノ眺メ。夕食ノ黒ビールノウマサ。



明ルイ青イ感ジノ部屋,

真前ニ低ク赤□屋根ガ大キク横タワッテ居リ, 其ノ後ガ明星岳, 左ニツヅイテ明神岳, 明星岳ノ右手ハ谷ニナッテ, 遠ク相模灘ガ見エ, 其ノ右ニハ鷹巣山ノ袖カ, 迫リ出テ谷ヲハサンデ居ル。



東

湖水ノ石垣ニ立ツト, 正面稍右ヨリニ大キク駒ヶ岳, ソノ左ニ続イテ神山ガ稍低ク見エル。

正面稍左手ヨリニハ, 対岸ノ三国山, 湖尻□峠, 長尾峠ノ向フニ高山ト富士ガ見エル。右手ハ二子山ガ殆ド屏風山ニカクレ, 屏風山カラ裏ニマハルト鞍掛山ダガ, 室カラハ其処マデ見エナイ。

十八日 金 雨, 後止ミシモ曇リシママ。

昨日, ホテルカラ元箱根ニ電話シテ貰ッテ, バスがゴミアフヤウナラバ, 八時ノ小田原行キデ元箱根マデ出ルツモリダッタガ, バスハ必ズ席ガアルカラ, ユックリ ココカラ乗ッテ行ケバヨイトノ事ダツトノデ— 朝カラ雲ガ低クテ, 筋ヲヒイタヤウニ山ト云フ山々ガ頭ヲ切ラレテ居タノガ, 間モナクトウトウ雨ニナッテ, ソノ山々モマルデ見エナクナッテシマフ— 八時半を少シ過ギテバスガ来ルト, 満員デヤット乗ツタガ, ギュー

ギューニオシコマレテ立ッテ居ル始末。其ノ上天井ガ低イノデ、真直グ立ツコトガ出来ナイマデ熱海マデ出テクル。雲霧ノ中ヲブンブン走ルダケデ、一向眺メハナク、マルデ静カナ大河ノヘリヲ走りツツケテ居ルヤウ。バスノ女車掌ガ途々何カカニカ遊覽バスラシク、朗読調デ説明ス□ルガ、何ニモ見エナイ。

ソレデモ十国峠マデ□来ルト急ニ雲ガウスレテ、□霞<sup>霧</sup>ンデハ居ルガ、遠ク遠ク下ノ方ニ関東平野ガヒラケテ見オロサレ、ソシテ熱海峠ヲ越スト、ソノ霧モナクナッテ、初島カラ、コノ下ノ海岸マデノ間ガハッキリト右ニ左ニ姿ヲカヘテ現ハレル。

バスノ女車掌ニ訪ネタラ、大野屋ニ行クナラ、駅マデオリナイ方ガ近いト云フノデ途中デオロサレタガ、ソコカラタラタラトオリテ海岸通りマデ出テ、殆ド熱海ノ右ノ端ニアル大野屋マデハ大変ニ遠ク、二人デーツツツカバンヲサゲテ、ブーツク云ヒナガラ十時頃大野屋ニ入ル。寿ノ三十二番ト云フ三階ノ一番端ノヨイ室ガアッテ、浴衣ニキカヘ風呂ヲ浴ビテ、一休ミスルト中食、中食後□一時間程昼寝。熱海ニオリテ来ルト、海ハ近く、曇ッテ居ルノニ結構暑ク、浴衣一枚デ昼寝シテモ、涼シイトモ思ハナイ。

熱海ノ町ハチットモイイトコロガナイ。大野屋ト云フノハ実ニ大キナ建物デ、部屋ナドモ綺麗ニシテハ居ルガ、女中ダマリノ騒々シサ、女中達ノ行儀ナサ、短評ヲ加ヘルナラバ、建物ハ、少クトモ其ノ大キサニ於テハ稍一流、料理ハ品数モアリ、一応ヨイガ今一息デ、コレモ料理屋デナク、宿屋トシテモ先ヅ二流、客アシラヒハ、玄関ノ洋服ノ男達ハシッカリシタホテルノヤウダガ、室々ノ女中達ハ皆落第デ、品格トシテハ第三流ト云フトコロ。

□十六時過ぎ散歩ニ出ル。魚見崎ノ下観魚洞ヲヌケテ、錦ヶ浦ニ出、一本松ノサキノ方、曾我浦ノ手前、網代ノ町ヲ真前ニ見ルアタリマデ歩イテ引返ス。初島ハ案内遠クノ方ニハナレテ浮イテ居ル。熱海ヨリハコノ方ガ余□程イイ。夕方ノ静カナ海ハ、イツ見タッテイイコトハ書カナイデモイイ。一面ニ雲ノ多イ、ソレデモドウヤラ青空ヲシクナッテ来タ夕方ノ天ニ、半分バカリノ月ガマダ光ラナイデ、黄色クカカッテ居ル。

熱海ト云フ所ハ、トンデモナクゲスデ騒々シイ処ダ。夜遅クマデローマ式円形大浴場トヤラデ、大ノ男ガ大キナ声デ寝言ノヤウナ演舌ヲシテ居ルカト思ヘバ、向フノ方デハ、親不孝ラシイ大キナ声デナニワブシラウナッテ居リ、時ヲオイテハブーブートハイヤーガ玄関ニシコンデ来ル。

海岸ハコンクリートデカタメラレ、町ハ空地モ庭モナクゴセゴセト家ガコミアッテ居ル。今頃、貫一サント、オ宮サントヲ探シテ来テ見セタラ、昔ヲ振り返ルヨスガモナク、只々キョトキョトスルニチガヒナイ。

十九日 土 朝カラ怪シゲニ曇ッテ居タガデキニ雨ニナリ、終日雨、マスマスヒドク夜ハ風サヘ強イ。

九時ニ宿ヲ出、ハイヤーデ駅ニ出テ、十時二分ノ汽車デ帰京。東京駅デ中食、十四時

ニ豪徳□寺ニツキ、暫ク休ンデ、十六時ニ新居ニ移ル。大変ナ雨風デ濡レテ来タノデ、夕食ハ後藤ノ所デ食べサ□セテ貰フ。

二十日 日曜日 雨、後晴、風稍強、

後藤夫婦ガ来テオ茶ヲ飲ンデ話シテ行キ、後ニマタ後藤ガ兄サンヲツレテ来ル。

英チャンガ色ンナモノヲ運ンデ来テクレル。一緒ニ昼食、オ母サンガ来ル。十四時頃カラ、二人デ、祐天寺ニ行キ、後、府立高等ニ行キ、柴山サン、中沢サン、久顕サンノ所ニ行キ、久顕サンノ所デ夕食ヲ馳走ニナツテ、二十二時頃帰ッテクル。

受信 太平洋協会（四通）、野口正章、杉浦健一、大和書店（校正四通）

留守中タマッテ居タモノ、

二十一日 月 晴、十四時頃ヨリ、時化、雨時々ヒドク来、嵐メイタ風吹き続ク。

十一時ニ太平洋協会ニ行ク。十四時頃、清□野氏ト一緒ニ帰ッテ来ルト、渋谷マデ出タ時、大変ナ雨風トナツタノデ、府立高等マデ行クツモリダッタノヲヤメテ、真直グ帰ッテクル。

夜、久顕ヲ呼ンデアッタノガ、止メルト云ッテ来タノデ、後藤夫婦ヲ呼ンデ、一緒ニ賑カニ食事。

二十二日 火 朝ノウチドウヤラ天気ガオサマツタ様ニモ見エタガ、雲ガ多ク、風ガ気マグレデ、午後終ニ又ヒドイ雨が降ツタリ止ンダリスル。

午前中、東横ニ寄ッテ刷物ヲトツテ、府立高等ニ出、久顕サンノ所ニ行キ、町会ニ往復シテ移動申告証書ヲトリ、午後荷物ヲマトメテ、天気ガヨクナツタラ持タセテ貰フコトトシ、英子サンノ所ニ行ク。

夕方帰りニ、久顕ト忠久ヲ誘ッテ、一緒ニ連レテ来ル。

受信 竹下源之介、

二十三日 水 曇、小雨、午後晴、夜寒、

大和書店ニ行キ、竹下君ニ会ヒ、校正済ミノ分ヲ渡シテ、大学ニマハリ、杉浦君ニ会ッテクル。

二十四日 木 朝一寸ノ間曇ッテ居タガ、晴レテ一日ヨイ天気、晩モ十五夜ノ月ガ明ルカッタガ、遅ク雲ガ出テ、少シ雨ガアル。

終日家ニ居ル。夕方、川名サンヘ一寸行ッテ来ル。

夜ハ、後藤夫婦ガ来テ居タコロヘ、英サンモ来テ、二十三時過ギマデ話。

二十五日 金 快晴,

十五時ヨリ太平洋協会ヲ南方斑ノ集リ。

二十六日 土 曇, 十時頃ヨリ晴レ, 十五時頃ヨリ再ビ曇リ, 日暮ヨリ雨。

十時頃府立高等ニ荷物ヲ催促シニ行カウト思ッテ居タラ, 車屋ガ荷物ヲ届ケテ来タノ  
デ, 出カケルノヲ止メテ, 一日家ニ居ル。

発信 結婚通知ニ添ヘテ二十五通。

二十七日 日曜日 晴,

午後, 軍人会館ニ写真ヲトリニ行キ, 府立高等ニマハリ, 久顕ノ所ヘ行キ——久顕留  
守——柴山サンニ行キ, 夕食ヲ馳走ニナリ, 英子ノ所ニ行ッテクル。

発信 辻忠二郎,

二十八日 月 晴, 午後雲多シ。

十五時, 太平洋協会ノ集。夕方, 太平洋協会ニ久保田君訪ネテ来, 一緒ニ新橋デ食事。

二十九日 火 晴, 午後雲多シ。

十時頃, 田辺ノ英サン夫婦ガ来テケレル。中食後皆デ一緒ニ出, 新宿デ別レテ自分達  
ハ駒込マデ出テ, 青田サンノ所ニ挨拶ニ行ッタガオ留守デ, 末子サンダケ居ル。引返シ  
テ恵比寿ニ出テ, 綱町マデ行クト, 向フカラ叔母様ト三木君ト出テ来ルノニ道デ逢ッテ,  
道デ挨拶シテ——梅サンモ那須野ニ行ッタ由——別レテ新橋ニ出, 帰り豪徳寺ニ出テ,  
近所ノ二三家ニ挨拶シテ帰ッテ来ル。

受信 辻忠二郎, 倉橋弥一, 竹下源之介,

発信 竹下源之介, 長谷部言人,

三十日 水 曇, 後晴,

移動申告書ヲ持ッテ区役所マデ行カナケレバナラナカッタノデ, 敬子ヲ連レテ出, 区  
役所ヲ済マセテカラ中島君(敦)ノ所ニ行ク。

十一時頃帰ッテクルト, 警戒警報ガ出タノデ, 午後ハ出ナイコトニスル。

嵩チャンガラヂオヲ作ッテ行ッテケレル。嵩チャンニ黒幕紙ヤ電燈ノ被ヒヲ買ッテ来  
テ貰ッテ, 管制設備ヲスル。

受信 榊田聖子, 山井忠, 青田幸吾,

✓ 芦ノ湖ノ今日ハサミシモ 九月半バラ 雲低ク 湖面ハ揺レズ 鶴鶴啼キテ。

✓ 大涌谷ヨリ タラタラト アスファルトノバス道ヲ 敬子ト二人 オリ来レバ 真正

面ニ 長尾峠ノアタリニ 一線ノ白雲カカリ 其ノ棚雲ノ上ニ大キク高ク ソソリ立  
ツ 藤紫ノ富士ノ山カモ  
✓雨雲ノ魚見ノ崎ユ 振返ル 熱海ノ町ノ 家ナミノ 此処ニカシコニ 白煙 イ立チ  
昇レル 秋来ムユフベ。

✓日暮ノ郊外ニ帰ッテ来テ 僅カナ畑道ニ差シカカルト 秋ノ靄ガ静カニオリテ 風モ  
ナイ冷タサガ近々ト煙ッテ居ル。

## 十月

一日 木 曇，夜小雨，

十五時，太平洋協会。野口君ヨリ電話デ，月曜日，赤松俊子君ト三人デ逢ハウト。

五時半，文理大ノ学生達カラ□茗溪会館ニ招カレテ居タノデ行ク。オ客ハ田山利三郎  
氏ト，遅レテ高橋敬三君ガ来ル。食事後長イコト話。□田山サンハニューギニアニ海軍  
嘱託デ年々調査団ヲツレテ出ル由，高橋君ハ陸軍司政官デマニラニ出ル由デ，パラオ以  
来ノ知人ノニュース，南方ノ話デ賑ハフ。

二日 金 曇，晴，稍暑，

午後，敬子ト府立高等ヘ行ク。久顕ノ所ト英子ノ所，久顕ノ所デ夕食，二十一時過ギ  
ニ帰ッテ来ル。

受信 竹下源之助<sup>〔介〕</sup>，（校正ト二通）

三日 土 快晴，

スッカリ秋ラシク，天ガ高ク日ガ強クテ，風ガカラットシテ涼シイ。

朝，三沢夫婦ガ至チャンヲツレテ来テクレル。

午後ハ太平洋協会ニ話ガアッタノダガ，行カナイデシマフ。

受信 三沢露子，

発信 竹下源之介<sup>〔介〕</sup>，（校正ト二通）

夜，嵩チャンガ来テ居ルト，英子サンガ忠光ト忠義トヲツレテ来ル。

四日 日曜日 曇，薄日。

午後，敬子ヲツレテ昇サンノ所ト，三沢ノ所ニ行ク。

五日 月 晴。

敬子ト銀座ニ出テ買物。正午，日比谷ノミマツデ野口君，赤松君ト逢フ約束ダッタノ

デミマツニ行ッテ待テド待テド来ズ、三十五分過ギテ敬子ニ拓務省ニ電話ヲカケサセタガ、野口君ハ居ナイト云フノデ、諦ラメテ下ノ食堂ニデモ行カウト、奥ノ方ニ入ッたら、野口君ト赤松君ト居ル。赤松君ハ菊屋ギャレリーデ自分達ノ展覧会ノ飾付ケヲシテ居ルノデ、時間ガナイカラトテ帰ッテシマフ。野口君ト支那料理屋ニ行ッテ中食。後、菊屋ギャレリーニ行ク。赤松君ト夫君トテ絵ヲ並ベテ居タガ、十五時カラ自分ハ太平洋協会デ話ヲシナケレバナラナイノデ、三十分バカリ前ニ別レ、敬子ニハ九段ノ軍人会館ニ行ッテ貰ヒ、自分ハ太平洋協会ニ行ク。

六日 火 晴、

終日家ニ居ル。敬子ハ小児体力検査デ、□午後出テ行ク。

此ノ頃一日一日ト秋ガ深クナッテ行ク感じ。十四年目ノ日本ノ秋デアル。□葡萄モ食ツタ。柿モ食ツタ。栗モ食ツタ。サンマモ食ツタ。松茸ハマダ。

受信 羽根田弥太、甘露寺方房、

七日 水 晴、風荒シ。

敬子腹痛癒エズ、オ母サンニ来テ貰ッテ、盲腸ヲ手術スルコトニスル。園チャンガ府立高等ニ行クト云フノデ、久顕ニ伝言ヲタノンデ、昼食後、自動車ヲ頼ンデ久顕ノ所ニツレテ行ク。十五時手術。其ノ間ニ英子サンノ所ニ行キシモ留守、柴山サンニ行キシモ、綾子トタンチャンダケ居ル。二時間程シテ帰ルト、手術モ済ンデ居ル。久顕ノ所デ夕食、二十一時半帰宅。朝、敦チャンガ来テクレル。

受信 竹下源之介、

八日 木 晴、夕方カラ曇ル。

早登デ府立高等ニ行キ、十五時太平洋協会、野口君訪ネテ来ル。坂上君ノ所へ届ケタ本ノ企画届ノ件。太平洋協会ノ帰り府立高等ニマハリ、柴山サンデ夕食ヲ馳走ニナッテ後、敬子ノ所ニマハル。

発信 竹下源之介、長谷部言人、山井忠、

九日 金 曇、午後十三時頃ヨリ一時間程小雨アリ、夜又雨ニナル。

早登デ府立高等へ行ク途中祐天寺ニヨル。十八時頃帰り、後藤ノ処デ夕食ヲ呼バレル。

十日 土 昨夜ヨリノ雨止マズ、朝カラシキリテ雨、午後止ミテ薄日セレド、夜又雨トナル。

午後、府立高等、英子サンノ所デ夕食、帰後、後藤ノ所デ二十三時過ぎ迄喋ッテ居ル。

受信 辻二郎、竹下源之助、

十一日 日曜日 快晴,

美シイ秋ノ日。天高く青ク、日輝カシ。タッターツカニツノ白イ雲ガマブシイ程ニ白ク光ル。

<sup>〔後〕</sup>  
五藤夫婦ト府立高等マデ プラプラ 歩イテ行ク。自分ハサキニ英子サンノ所ニ寄ッテ甘露寺ノ所ニ電話シ、十七時半ニ訪ネル様ニシテ、病院ニ行ク。十七時ニ三人デ渋谷ニ出、二□人ト別レテ初台ニ甘露寺ヲ訪ネル。二人デ新宿ニ出テ食事、二十一時ニ帰宅。

朝、嵩チャンガ梨ヲ持ッテ来テケル。

〔発信〕 竹下源之介。辻忠二郎,

十二日 月 曇, 夜雨ニナル。

昼前、英サンガ来ル。午後、太平洋協会、帰り府立高等ニマハリ、久顕ノ所デ夕食。ペストノ予防注射。雨が降ッテ止マナイノデ宿ル。

〔発信〕 三沢寛, 中島敦, 羽根田弥太,

十三日 火 曇, 昼前少シノ間晴レシモ, 後再ビ曇リ, 夜雷雨アリ。

英子ノ所、柴山サンニ行□キ、昼頃帰ッテ来ル。夜ハ後藤ノ所デ馳走ニナリ、二十時半迄モ駄弁ッテシマフ。

敬子ハ経過ヨク、今日ハモウ立ッテ歩ケル。

十四日 水 晴, 夜一寸雨,

午後、府立高等、夜柴山サンデ夕食、宿ル。

十五日 木 快晴,

九時半頃、綾子ト英子サンノ処ニ行キ、一時頃程<sup>〔ママ〕</sup>シテ病院ニ行ク。敬子ガ今日退院スルト云フノデ、自動車ヲタノンデ貰ヒ、昼家ニ帰ル。

夜、後藤ノ兄サン達ガ来テ居タノデ、夕食後、後藤ノ処ヘ行ッテ□二十一時過ギマデ話シテ居ル。

〔受信〕 三沢寛,

十六日 金 晴, 後曇。

十時頃カラ後藤ト一寸軍人会館ニヨリ、上野ニ出テ文展ヲ見ル。彫刻ト洋画ダケ見テ出、銀座ニ出テ片山氏ノ個展ヲ見テ、五時頃帰ッテクル。

<sup>〔欄外に記す〕</sup>  
〔文展〕

少クトモ十五六年振りデ文展ヲ見タノダガ、ソシテ数ノ多イノト人ノ多イノトデ、真カラユックリ見ナカッタノデハアルガ、ソシテ真面目デ長々ト批評ヲスル根氣モナイノ

デアルガ、極メテ全体のニ云フト、第一ニ高イインテリヂェンスヲ示シテ居ルモノガ殆ド見当ラナイノハ、何ト云ツテモ一番腹ダタシイ。反対ニシツコク臭ツテ来ルノハ、殆ド無ニ等シイ内容ニコケオドシノ形容詞、形容詞、形容詞ヲツミ上ゲ積ミアゲタ、虚勢的ナ形容詞ノアラベスクデアルコト、ドレモコレモ大キサバカリガンバッタ——ホテルノ階段ノ上ニカケラレ、上リ下リスル人ノイチベツヲダケ喜ンデ受ケルニ価ヒスル——ソレダケノ様ナ絵デアル。知識人ノ、思想人ノ私室ニ掲ゲラレ、日々、年々シミジミト眺メラレ慰マレル様ナ作品ハ無ニ等シイ。

コレハ大概彫刻ト洋画ヲ見テノ感想ダケレド、ソシテ日本画ハホンノ二三室素通りシタノダガ、日本画ニナルト更ニドレモコレモ制限内ノ最大幅デ、ソノ大キナ画面ノ中ニ、引伸バシタ様ナ大キナモノガ大ザッパニ描カレテ居ルモノガ多イノニハ驚キ呆レタ。全ク極度ノ引伸バシノ様ニ間ガヌケテ居リ、イヤニ薄色バカリデ、一年モ置イタラ消エテナクナル様ナゴフンデ伸バシ伸バシ、絵具ヲ□儉約シタ様ナ——色マデ引伸バシノ様ナ絵ガ多イ。ソレカラモット呆レルノハ、無鑑査ノ多イコトダ。コレデ無鑑査出品者ハ一年オキト云フノダカラ、無鑑査出品者が全部出シタラ、応募者ハ一人モ入選スル場所ガナイニキマツテ居ル。イッソ文□展馴レ合ヒ同人展覧会ニシテシマツタ方ガイイ。老大家連ガヨクモ□耻□知ラズニ熟ノナイ絵ヲ出シテ居ルノニモ、何トカ罰シ度イ氣ガシテナラナイ。中村不折氏ノ裸体画、有島生馬氏ノ天女ミタイナモノナド、モウ引込マナケレバシカタノナイモノダシ、大野隆徳ナドト云フ、昔一応描ケタ人ガ、モウ□□落サレル道モナク、見トモナイ□絵ヲ出シテ居ルノナドモ悲惨ナコトデアル。コンナ展覧会ニムキナツテ出品スル人達ガ居ルノダカラ、所詮ハ売名自己広告意識ノ結果カ、無定見、無自覚、無自信ノ結果カデナケレバナラナイ。文展モココラデヤメテシマツタ方ガ世ノ人々□ニ妙ナモノヲ強ヒナイコトニナルダケヨイ。

十七日 土 曇、十時頃カラ冷タイ雨ニナリ、□終日止マウトモシナイ。寒クテアザキナイ一日、火鉢ヲ入レテ何ニモシナイ。

夜、久顕ガ来ル。

十八日 日曜日 曇、夕方ニナツテ僅カニ晴レル。

一日家ニ居ル。夕方、敬子ト三四十分豪徳寺ノ方カラ畑道ヲ散歩シ、夜向フノ家ニ風呂ヲアビニ行ク。

発信 坂上真一郎、

受信 羽根田弥太、

十九日 月 快晴、秋ラシク氣持ヨシ。

午後、大和書店ニ竹下君ヲ訪ネ、検票ヲ渡シテ、太平洋協会ニ行ク。羽根田君ニ逢フ。

受信 竹下源之介,

二十日 火 快晴, 風モナクテ快適ナリ。

朝カラ, 敬子ヲツレテ鎌倉ニ行キ, 秋庭サント, 島村サント, ソレカラ名越ノ緒方大佐ノ所ヘ行ク。

海岸ヲ長谷マデ歩イテ江ノ島ニ出, 江ノ島デタ食シテ二十一時帰宅。

受信 太平洋協会学術委員会。田辺綾子。

二十一日 水 快晴,

昨日久顕ノ所カラ電話デ, 学士院カラ校正ガ来テ居ルト云フノデ, 府立高等ニ出カケル。久顕ノ所ニ丁度英子ガ来合ハセテ居タノデ, 一緒ニ綾様ヲ見舞ヒ, 英子ト一緒ニ中沢サンニ行ッテ中食, 後柴山サンニ百合子ガ来テ居ルト云フノデ行ッたら, 百合子ハ居ナクテ, 洋子チャンガ預ケラレテ居タ。十五時半頃帰宅。

発信 和田清治, 野口正章,

二十二日 木 晴,

朝, 保険屋ト保険医。

午後, 太平洋協会。久保田君カラ電話デ紹介スル人ガアルカラト云フノデ, 十七時前ニ放送協会ニ行ク。南江治郎君<sup>349)</sup>ニ紹介サレ, 三人デ銀座裏ノレストランヘ行ッテ食事。二十時帰宅。

協会ニ小山書店ノ西山君訪ネテクル。月曜日ニ又来ル由。

受信 緒方夫人,

二十三日 金 曇晴,

十時, 敬子ト園チャント三人デ, ブラブラト春秋園ニ行ク。後藤モ其ノ頃行ク筈ダッタノガ来ナイノデ, 園チャント別レテ中島(敦)ノ所ニ行ク。一緒ニノボルチャンヲツレテ本屋ニ行キ, 青葉高女ノ方ヲ一マハリシテワカレ, 十二時過ギ帰宅。

午後敬子, 亡兄ノ十年祭デ家ニ行ク。

夜, 高チャンガオ寿司ヲ持ッテ来テクレタノデ, 一緒ニオ酒ヲツケテ御飯。

二十四日 土 曇, 午後雨ニナリテ夜マデ止マズ。急ニ寒シ。

昼前, 上町ノ塚野サンニ行ッテクル。

午後, 神田ニ出, 三省堂ニ「民族学研究」ニ出ル原稿ノ校正ヲ届ケ, 歩イテ大学ニ行ク。丁度学会ダッタガ, 八幡君ニ会ヘタノデ, 建設社カラ出ル本ノ序文ノコト其他ヲタノンデ, 帰りニ府立高等ニマハリ, 柴山サンニ行ク。洋子ガ具合ガ悪クテ, 敬子ガ呼バ

レテ居タノデアル。二人デタ食ヲ馳走ニナツテ後、英子サンノ所ニヨリ、久顕サンノ所ニ行ツタガ、留守ラシクテシマツテ居タノデ帰ツテクル。二十二時半。

受信 坂上真一郎、大和書店、

二十五日 日曜日 快晴、

夜、久顕、忠久、忠直ト嵩チャント来テ大賑ハヒ。

遅ク、後藤ガ保科君ト云フ人ヲツレテ来ル。

発信 清野謙二。<sup>(次)</sup>

二十六日 月 快晴、

太平洋協会ニテ清野氏ニ会ヒ、小山□書店ノ西山氏ニ会フ。西山氏へ企画届。

協会デ安場保国ニ逢フ。

発信 和田清治、坂上真一郎、

受信 鳥村環、和田清治、

二十七日 火 快晴、

太平洋協会カラ電報ガ来テ居タノデ、朝、判ヲ持ッテ行ッテクル。十時半ニ帰ルト、三沢ガ来テ居ル。

皆デ中食後渋谷ニ出ルト、間モナク三沢ノ奥サンガ来ル。東横ニ行ッテ後、三沢夫妻ト別レ、五反田ニ出テ、田辺ノ英サンノ所ヲ訪ネ、十七時過ぎ帰宅。

夜九時、ラヂオハ南太平洋海戦ト其ノ戦果ヲ発表シタ。

二十八日 水 快晴、

午後、明大前ノ戸田(康明)サンノ所ヲ訪ネタガ留守デ、桜上水ニ出テ三沢ノ所ヲ訪ネ、夕食後、二十一時帰宅。

発信 鳥村環、

二十九日 木 快晴、

朝、警察署マデ。

午後、敬子ト中野ノ亀田サンマデ挨拶ニ行キ、敬子トワカレテ太平洋協会へ。大橋少佐ノ話。後、大橋少佐他一少佐ヲ招待シテ築地ノ芳蘭亭デタ食。太平洋協会ノ平野、大迫、山田、沢田四氏ト関君<sup>350)</sup>ト。

泉井久之助君ガ京都カラ出テ来タトカデ、協会ニ訪ネテクル。仏印ヘ行ク由。

三十日 金 晴，稍霞メク。

午後，敬子が警察署マデ行クト云フノデ，散歩ナガラ一緒ニ出テ，若林マデ行き，別レテ渋谷ニ出テ本屋ヲ見テクル。

三十一日 土 晴，夕方ヨリ稍雲多シ。

終日家ニ居ル。敬子，朝ノウチ百合子ノ所ニ行ク。

受信 島村環，竹下源之介，八幡一郎，

---

✓栗 栗ト云ヒテ喰ラヒシ 昨日ノ栗モ  
栗トハ云ハズ 今日ノコノ栗シ食ヒテバ。

---

(南洋ヨリ帰りシ我ニ，カヘリミレバ十四年目ノ内地ノ秋ナリ。)

✓南洋ヨリ帰りテ十四年目ニテ  
内地ノ秋ニ親シム我  
葡萄，柿，栗，サンマモ食ヒス  
松□茸ハマダ。

---

✓朝ノ陽 (ヒ) ライッパイニ受ケタ  
生垣ノカナメノ赤イ秋芽ガ美シイ。

✓カナメ垣ノ赤イ秋芽ガ出揃ッテ  
風モナイ朝陽ヲ浴ビタ美シサ。

---

✓スズカケノ枝ヲスッカリ払ッたら  
今日ハ朝カラ小春ノ光ガ  
硝子戸ニサンサント照ッテ暖カイ。

---

✓瓶ニイケシタリヤノ花々  
ウケクモ シボミオヘケリ  
小春メク 秋深キ昼ナカ。

## 十一月

一日 日曜日 終日雨。

午後，十四時半ニ東京駅デ待ツ由，環サンカラ端書ガアッタノデ行ッテ会ッテクル。  
環ハ十五時四十分ノ汽車デ名古屋ニ帰ッテ行ク。

夜，余分ナ肉ガ入ッタノデ，後藤一家ヲ呼ンデ賑カニ夕食。

受信 「パラオノ神話伝説」大和書店ヨリ。

二日 月 晴。

午後、太平洋協会ニ行き、十五時半頃大学ニ行ク。誰モ居ズ三十分程モ待ツウチニ杉浦君ガ帰ッテ来ル。

協会デ清野氏ノ所ヲ訪ネテ来タ「日本女性」ノ記者ニツカマリ、原稿ヲオシツケラレル。

三日 火 晴、

敬子ト自転車デ府立高等ヘ出カケ、久顕サンノトコロ、英子サンノ所、柴山サンヘ行ッテクル。

受信 赤松俊子、岩崎命吉、

四日 水 終日曇ッテヒヨヒヨト寒イ。

終日家ニ居テ何カカニカチグチグシテ居タツモリガ、結局何一ツシナカッタシイ。

受信 和田清治、

発信 岩崎命吉、家入満洲雄。坂上真一郎、八幡一郎。

五日 木 朝薄日ガ差シタリ戻ッカリシテ居タガ、後遂ニ曇ッテシマフ。

午後、太平洋協会。月末近ク長官ト関君等ガ先発トシテ飛行機デ飛ブコトニナッタノデ、留守団長ニ指命サレ、明日カラ毎日半日ツツ協会ニ行クコト。

十六時、和田（清治）君ト羽根田君トガ協会ニ訪ネテクレル。一緒ニ□銀座ニ出、オ茶ヲ□飲ミ、オ寿司ヲ食ヒ、ビールヲ飲ンデ話シテ話シテ別レル。

受信 亀田豊治郎、前川武夫（日本女性編輯部）、

太平洋協会ニ行ク前ニ、大和書店ニ行ク。

六日 金 終日ドンヨリトシグレテシマッテ、風モナイノニヒヨヒヨト寒イ。

午後、太平洋協会。農林省ノ水産係ノ人ノ漁業□状況ニ就イテノ話アリ。

後、関君トタイピストヲ一人ツレテ、陸軍省ノ補任課ニ行ク。司政官連中ノ履歷書全部書直シノ件。

受信 佐伯タマ子（端書及ビ写真）、家入満洲雄。

七日 土 晴、

法制局ノ山本理事官ノ所ヘ、著書ヲ提出スル様トノ事ダッタノデ、朝、久顕ノ所ヘ取りニ行ク。久顕、勤勞奉仕デ留守、英子サンノ所ヘ行ク。佑サンガ帰ルノデ、迎ヘニ行ッタ由デ誰モ居ズ。柴山サンニ行ク。百合チャンガ急性腸カタルデ入院スル由デ、叔母様モ居ズ、綾子一人居ル。昼食ヲ貰ッテ、太平洋協会ニ行ク。上原君ト調査要領作成打

合ハセ。

八日 日曜日 快晴,

府立高等, 祐天寺ノ子供達ヲ呼ンデアッタノダガ, 祐天寺カラモ中沢カラモ断リガ来テ, 柴山サンノ子供達ダケガ来ルコトニナッテ居タノガ, ナカナカ来ズ, 十二時ヲ一寸マハッタ頃ニナッテ, 綾子ト昭子ト二人ダケヤッテ来ル。遅イ昼食, 後皆テ豪徳寺カラ青葉公園ノ所ヲスケテ青葉女学校ノ方ヲ散歩, 帰ッテオ茶ヲイレテ十六時半頃子供達ヲカヘス。

夜, 英サンガ来テ, 亀田サンガ来テ居テ, オ嬢サンガオ嫁ニ行クコトニナッタガ, オ婚サンガスグニバタバヤニ行クコトニナッテ居ルノデ, 南洋ノコトヲキキ度イトノ事ダッタノデ, 敬子ト向フノ家ニ行ク。

百合チャンハ入院ガ間ニアハズ, 流産シテシマッタ由, 可哀サウニ。

受信 荒居徳亮,

九日 月 晴,

此ノ頃メキメキト朝晩ガ寒クナッテ来タガ, 今日ハマタ急ニ朝ガヒドク冷タク, 晩モ亦シンシント寒イ。マダ風ガナイノデ, 昼間ハ日サヘアレバカナリ暖カイガ, 是レデ北風デモ吹き出シタラ, ヤリキレマイト思フ。

午後, 太平洋協会。清野氏ガ来テ居ラレ, 杉浦君ガ来, 帰ル前ニ, 商大カラ出ル南方調査団ノ部長ノ赤松氏ト, 小田橋氏ガ見エル。

受信 江崎政行, 中沢佑,

十日 火 晴,

午後, 協会。清野氏, 上原君等ト丸善二本ヲ見ニ行ク約束ダッタガ, 皆ガ先キニ行ッテシマッタノデ後カラ行ク。

発信 前川武夫 (日本女性原稿),

十一日 水 晴,

午後, 太平洋協会。

受信 竹下源之助<sup>(介)</sup> (端書及地理学研究), 高崎ヤス子。

十二日 木 晴,

午後, 協会。

十三日 金 メキメキト寒ク、二三日前カラ朝毎ニ霜ガ置ク。  
午後、協会。

十四日 土 朝カラドンヨリ曇ッテ妙ニ暖カカッタガ、午後カラ終ニ雨ガ降り出シ、  
夜迄降ッたり止ンダリシテ居ル。  
午後、協会。

受信 羽根田弥太、前川武夫、中沢佑、

十五日 日曜日 朝晴レテ居タガ、又次第ニ曇ッテシマヒ、終日暗クテ寒イ。  
午後、敬子ト二人デ祐天寺ニ行ク。天気ガ悪イノデ珍ラシク皆家ニ居タノデ暫ク上リ  
コミ、十五時頃ニ府立高等ニ出、柴山サンニ行キ、一時間バカリシテ中沢サンニ行ク。  
佑サン帰ッテ来テ居テ、夕食ヲ馳走ニナッテ、二十一時頃帰宅。永イコト後藤ノ所デ話  
シテ居ル。

発信 竹下源之助<sup>(介)</sup>、佐伯タマ子、一瀬直行

十六日 月 曇、午後雨降ッたり止ンダリ、風強シ。  
昨夜半地震アリ。  
午後、協会。

受信 竹下源之介<sup>(マ)</sup>、大和書店（バラオの神話伝説八冊）、中井良三郎、

十七日 火 朝カラ終日雨デ寒イ。  
協会ニモ出ズ、今日ハハジメテ切炬燵ニ火ヲ入レテ、一日座リコンデ居ル。  
チブスノ予防注射。

受信 一瀬直行。

十八日 水 晴、

午後、協会、夜、星ヶ岡茶寮ニ陸軍関係者招待。先日ノ大橋少佐等ト今一人小林少  
佐、コチラハ金井清氏、鶴見□□氏<sup>351)</sup>、大迫氏、平野氏、笠間氏、関氏ト常見氏。  
○二十六日ニ馬奈木（ボルネオ）参謀長ノ飛行機ニ座席ガアル由デ、出来タラ先発シロ  
トノ由、  
○協会ニ羽根田君、加藤（源治）君、久保田君、訪ネテ来ル。

十九日 木 晴、

午後、敬子ト麴町区役所ヘ行ク心算デ行ッタガ、代書ダケデ印ガトトノハズ、別レテ  
協会ニ行ク。

夜、敬子ト馬奈木少将ノ処ヲ訪ネル。飛行機ハドウヤライイラシイガ、可及的速カニ回答スル由。

メキメキト一日一日寒クナツテ来ル。ガ此ノ位ガアタリマヘナノダロウ。此ノ秋ハ天気ガヨカッタシ、風ガチットモ吹カナカッタノデ、例年ヨリハ大分寒サガ遅カッタノダラウ。

ソレニシテモ、八月ハジメカラボルネオ、ボルネオデコマデモ引摺ラレテ来タノダガ、モウ出シテクレナクテハヤリキレナイ。

二十日 金 晴、稍雲多シ。

急ニ日ガナクナツテシマッタノデ、朝ノウチニ敬子ニ自転車デ三沢ノ処ニ行ッテ貰ヒ、晩ニ家ニ来テ貰フコトニスル。

昼一寸前、敬子ト一緒ニ府立高等ニ行キ久顕ノ所ニ行ッテ、二十二日ニ久顕ノ処デ皆ニ集マツテ貰フコトニシ、英子ノ所ニ行キ、中佑サンノ判ヲ<sup>〔伏見〕</sup>返リテ<sup>〔借〕</sup>帰り、区役所ヘハ敬子ニ行ッテ貰フコトニシテ渋谷デ別レ、太平洋協会ニ行ク。学術委員会デ杉浦君達モ来テ居タガ、ヌケテ帰ッテクル。

倉橋ガ原稿ヲ□全部持ッテ来テクレル。□イヨイヨ飛行機ノ先発ガ確定、上原君モ一緒ニ行クコトニナル。但シ、辞令ハ又々延ビテ二十五日ニ出ス由、ギリギリイッパイデ何トモヤリキレナイ。

晩ハ三沢夫妻ガ来テクレ、皆デユックリ夕食。後、後藤夫婦モ来テ、二十三時過ギマデ賑カナ話。

受信 倉橋弥一、三沢寛。

二十一日 土 晴、霞ンデ居ル。

発信 竹下源之助<sup>〔介〕</sup>、久保田公平、西山健児、野口正章、金子九平次、

今日ハボルネオ調査団ノ結成□式ガアリ、引続イテ夜ハ太平洋協会ガ壮行会ヲシテクレル筈ダツタガ、自分ハ馬奈木参謀長ノボルネオ懇談会ニ出席スル様ニ云ハレテ居居タノデ、十三時前ニ一寸協会ニ寄ツタラ、陸軍省カラ朝電話デ、イヨイヨ上奏ノ手続ヲトツタ由ノ所、自分ノ官等ヲ又々一等オトシテ司政官ニ任官サセル様ニシタト云フノデ、ソナ最後ニナツテマデインチキナコトヲスルノナラ行カナイカラ、止メニシテ貰フ。囑託ノ話ノヤウニヤリナホシテクレト云ツテヤッタノデ、関君ガ電話デ任官取下ゲ方ヲ依頼シタガ、既ニ書類ヲ出シタカラモウ駄目ダト云フ。笠間氏が更ニ電話ニ出ルト、自分ノ任官取下ゲヲスレバ、皆一緒ノ書類デ出テ居ルノデ、皆ノ辞令ガ全部オクレルガト云フ変ナオドシダツタガ、兎モ角□取変ヘル様ニ努力シヨウトノ事デ、ソノマ<sup>〔ママ〕</sup>自分ハ急イデ十四時ニ浅草ノ草津亭ニ行ク。十六時ニナツテヤツト馬奈木氏ガヤツテ来テ、直チニ各代表者ニ一々応答シタガ、自分ハ辞令ガオクレルカラ飛行機ハ棄権スルヨリ外ナ

イ由ト、上原君モオロシテクレテヨイ旨ヲ答ヘテ、中途デ座ヲ立ッテ出タ。十八時ニ昌生叔父様カラ華族会館ニ呼バレテ居タカラダガ、面白クナイノデ延寿春ノ壮行会ノ方ニハ断リモ云ハナイデ、真直グニ華族会館ニ行ク。昌生叔父様、梅子叔母様、中沢夫妻、久顕、ソレニ一寸中□根町ニ遊ビニ来テ居タ由デ、英昌<sup>352)</sup>モ来テ居テ、皆デユックリ夕食ヲ馳走ニナリ、二時間バカリモ雑談。

英昌ニハ十五六年ブリニ逢ッタ訳デ、最後ニ見タノガ□初等科ノ生徒ダッタノガ、今大学ヲ出テ、海軍技術官ニナッテ居ルノダカラ、逢ッテ見レバ幼顔ハソックリ残ッテハ居ルガ、二人ダケデ会ッタトテ互ニワカリヨウモナイ。

敬子ノコトニツイテハ、馬奈木氏ガ自分デ陸軍省ニ行ッテ掛合ッタガ、陸軍省デハ□<sup>断</sup>何ウシテモ受付ケナイノデ、自分デ云ヒ出シテ自分ノ方デ引込メルノハ変ダガ、此ノ話ハアツカッテ貰ヒタイトノ由。

陸軍省トノ交渉ハ随分ナガクナッタガ、羽根田君アタリノ話ヲキイテモ同ジコト、実ニインチキヲ押通シテ居ル。コンナ事デハ誰モ本当ニ仕事ノ出来ル者ハ南方ニ出ナクナッテシマフダラウ。五ケ月モノ間仕事モ出来ズダラダラト引バラレテハ、ヤリキレナイ。第一ニ総ベテガ戦時体制ニナッテ居ルノニ、人事ダケガ旧体制ノママdealコトガ、総ベテノ交渉ラグズグズト滑ラカニ運バセズ、人々ヲ逃ガシテシマフノダ。例ヘバ南方デハ土着民ニ日本語ヲ教ヘテ貰ヒ度イトアセッテ居ル。中央デモ□充分ソノ意向ガアル、ソレニモカカハラズ、人撰トナルト教員免状ガドウノカウノト云フ。内地デサヘ教員ガ不足シテ困ッテ居ルノニ、資格ヲ云々シテ居タラ、多量ナ人ガトナフ訳ガナシ、土人ニ日本語ヲ教ヘルノニ、教員免状ノ資格ナンカ要ル訳ガナイ。軍属ナドニシテモ、加俸ヲヤル加俸ヲヤルト云フガ、加俸ナドヨリモ本俸ガ大事ナノダ、待遇ガ大事ナノダ。大尉ト□全ジ収入ニシテヤルカラ伍長ニナレト云フ様ナコトデ、人ガ集マル訳ガナイ。南ニ行ク人ガナイノデハナイ、有リスギル程アルノダガ、身柄ヲオトシテマデ収入サヘ全ジナライイト思フ程、小供ッポイ人ガ居ナイ□ノダ。

最モイイ例ガ南洋庁ダ。領有以来三十年ニモナルノニ、終始一貫十割加俸ノ一手ダ。十割加俸、十割加俸デ官等ヲ値切ルカラ、一度南洋庁ニ足ヲツッコンダ者ハ、内地ニカヘッタラガタ落ちニ落ちナケレバナラナイ。ソナナ所ニ人材ガ進ンデ行ク訳ガナイ。インチキ加俸制度ヲヤメル時ダ。(恩給制度ニツイテモ全ジ問題ガアルノダガ)ソレヨリモ優遇制度ヲ樹立スルガイイ。例ヘバ外地ニ出ルモノハ、二三階段高ク採用スルコト、ソノカハリ内地ニカヘッタラ又一二階段オトセバヨイノダ。

二十二日 日曜日 晴, 稍暖,

昼, 久顕ノ処ニ酒ヲ届ケテ置イテ, <sup>〔義太郎〕</sup>平野氏ノ処ヲ訪ネル。留守ダッタノデ奥サンニ会

ッテ、モウ、コレ以上グズグズスル様ナラバ、ボルネオ行きハオ断リスル由ヲ告ゲテ帰ル。

柴山サンニ行ッテ暫ク時ヲ過ゴシ——綾子ハ又々熱ヲ出シテ寝コンデ居ル——夕方、久頭ノ処ヘ行ク。会食、自分ノオ別レノ会ノ筈ダッタ処、昨日ノヒックリカヘリデ、意味ガボケテシマッタガ、久々デ一人モカケズニ兄弟達ガ集リ、快イ大懇親会ガ出来タ。柴山ノ叔父様夫妻ト、我々兄弟四夫婦、英子ノ処ノ子供達四人、祐天寺ノ道子、ソレニ久頭ノ処ノ二人。

二十三日 月 曇、終日ヒヨヒヨト寒シ。

終日アチコチヲ訪問シ、オ別レニマハル予定ダッタノヲ、話ガヒックリカヘッテシマッタノデ、総ベテ抛擲シテ一日家ニクスブッテ炬燵ヲ入レテボンヤリスゴシタラ、誠ニ閑カナ休日気分ニナツタ。

朝、平野氏カラ電話ダッタノデ、九時半頃豪徳寺ニ出カケテ電話ヲカケタガ、既ニ出テシマッタ由、ソノママ。

発信 竹下源之介、野口正章、西山健児、久保田公平。

二十四日 火 晴、

昼前ニ太平洋協会ニ行ッテ、平野氏ニ、モウコレ以上ゴテゴテトナガビクナラバ、ボルネオ行きハ止メ度イ旨ヲ話シタガ、昼食ニ出テ、赤松君ノ丹那サンガ菊屋ギャレリデ展覧会ヲシテ居ルノヲ見ニ行キ、赤松君ト別レテ協会ニ帰ッテ来ルト、陸軍省カラ電話デ、囑託ニ変更デキタ由、明朝九時ニ先発ノ人々ト一緒ニ判ヲモッテ出頭スル由ダッタノデ、遂ニ行クコトニシテ帰ッテクル。

二十五日 水 晴。ヒドイ風ニナリ、凍ルヤウニ寒クナル。

九時ニ陸軍省ヘ行ク。笠間氏、黒沢氏、山本氏、上原氏ト五人、東亜研究所ノ井上氏等四人モ来テ居タガ、ハジメカラ大キナ寒イ部屋デ待タサレハジメ、十時半頃ニナッテヤット係ノ人ガ五六種ノ書類ヲ持ッテ来ル。誓文、留守宅手当受取人ノ示定、等デアル。昼ニナリ皆ニ弁当ガ出タガ、ソレカラヤット服装ノ衣量切符——<sup>(ママ)</sup>購入品目ノ指定並許可ヲ兼ネタモノヲクレタガ、旅費ガ何ウシテモ出ナイ。今日明日出発スル人達ハ□待チキレナイデ、偕行社<sup>353)</sup>ニ行ッテ品物ヲ整ヘル為ニ帰ッテシマヒ、自分ト上原君トガ遂々十六時半マデモ待タサレテ、ヤット皆ノ旅費ヲ貰ッテ、偕行社ハ他日ニスルコトニシテ、車ヲヒロッテ協会ニ行クト、間モナク白井少佐カラ電話デ、自分ト上原君トハ又、二十七日ノ馬奈木参謀長ノ飛行機ニ乗セテ貰フコトニシタカラ、連絡ヲトッテクレト云ッテクル。デ、又□々急ニ上原君ト車ヲ拾ッテ偕行社ニ駈ケツケ、ヤット込リ込ンデ服装其他ヲ取揃ヘルト、偕行社ハシマッテシマフ。ソレカラ馬奈木少将ハ毎日偕行社ニ出テ居ルト云フノデ面会ニ行ツタガ、丁度皆帰ラレタアトデ会ヘズ、連絡ヲ取ッテ貰フ様ニ書キ

置イテ、上原君ト別レテ帰ル。二十時ニナッテシマフ。

ソレカラ夕食ヲスマセ、敬子ニ軍服ノ徽章等ヲ縫ヒツケサセ、後藤ノ所デ風呂ヲ貰ッテ来ルト、二十四時ヲ過ギテシマフ。最後ノチブスノ注射ヲシテ寝ル。

受信 野口正章、

二十六日 木 曇、晴、寒、

早朝、敬子ヲ馬奈木サンノ所ニヤリ、明日ノ飛行機ノ出発時間、場所ヲ聞カセニヤッタ所、ヤハリ飛行機ニハ乗ル人ガ既ニアッテ、自分達ノ為ノ席ハナイ由デ、何カノ間違デアルトノ事。蚊帖ハ秀子ヲ呼ンデ馬力ヲカケサセルガ、ナカナカ出来ズ、イライラシテ敬子ニ再ビ協会ニ電話ヲカケサセルト、ヤハリ駄目ダッタ由、笠間司政長官ガ三時ニ東京駅ヲ立ツト云フノデ、敬子ト一緒ニ昼食後外出、新橋デ別レテ敬子ニハ日本銀行ニ行ッテ貰ヒ、金ヲ軍票ニ換ヘサセル。自分ハ協会ニ行き、笠間氏ヲ送ッテ東京駅ニ行く。

〔欄外に記す〕

〔書クコトハ不平バカリナリ冬ニ入ル。〕

今日ハ日鉄カラ、内南洋ノ島民働カ事情ニ就イテ話ヲスル様ニ呼バレテ居タノダガ、昨夕白井少佐カラ電話デ又飛行機ニ乗レトノ事ダッタノデ、今日ハ到底行ッテ居ラレナイト思ヒ、関君ニ日鉄ノ方ヲ断ハッテ置イテ貰フ様タノデオイタノガ、通ジテナクッタノデ、日鉄カラ迎ヘニ行クト電話ガアッタ由。ソレデ、経理部ニ行く筈ダッタノヲ止メテ日鉄ニ行き、四時カラ一時間バカリ話シテクル。

夜ハ、豪徳寺ノオ母サント嵩チャント来テ賑カニ食事、オ母サンガオ赤飯ヲタイテ来テクレタノデアル。

斯ウ毎日ノ様ニ、飛行機ニ乗レ、イヤ降りロデハ、アハテテミタリ、気ガ抜ケテシマッタリデヤリキレナイ。ソレモ自分バカリデハナク、一方上原君ノ方デモ全様ダラウガ、家ノ者マデ皆ガ全ジ縄ニヒキズラレテ、ノメツリ引止メラレタリスルザマハ、意志ノアル人間ニハチトヤリキレナイ図ダ。マルデ犬ノ様ニ頸ニ縄ヲカケラレテ居テ、“ソレ走レ！”デ全速力デ走り出スト、イキナリ“止レ！”ト全時ニ、グット縄ヲ引張ラレル。コレデハ喉ガツマッテシマフ。ソレヲジュズツナギデヤラレテ居ル様ナ図ダ。

二十七日 金 朝カラドンヨリシグレテ居タガ、九時頃ニハ冷タイ雨ニナリ、ソレモ大分ヒドク降ツタガ、昼前ニハ止ンデ、ナサケナイ薄日ガサス、併シ十六時頃ニハ再ビ一面雲ニオホハレテシマッテ、シンシント寒イ。

朝ノ霜ハ一面真白デ、本当ニ冬ガ来タト思ハセル。

十時頃カラ雨ノ中ヲ太平洋協会マデ船ニ積ンデ貰フ荷物ヲ届ケ、午後、東京経理部ニ行ッテ志賀少尉ニ会ッテ旅費ヲ直シテ貰ッテクル。

十五時帰宅、荷物ハ出シテシマッタ。飛行機ハマダイツニナルヤラキマラナイデ、ボカントスル。

二十八日 土 晴，雲多く，薄日ガ照ッテハ曇ッテシマヒ，終日ナサケナク寒イ。  
終日家ニトヂコモリ，午後ハツキニ炬燵ニモグリコム。

二十九日 日曜日 珍ラシク氣持ヨク晴レル。但シ朝ノ霜ハ益々深イ，  
昼前，敬子ト□東横ニ出テ写真ヲトリ，□府立高等ニ行ッテ久顕ノ所，英子ノ所ヘ一  
寸，ソレカラ柴山サンニ行ッテ夕方カヘッテ来ル。夕食ハ後藤ノ処デヨバレ，風呂マデ  
ヨバレル。

受信 甘露寺方房，「家」中川善之助，

三十日 月 ヨク日ガアタリ，風ナクテ氣持ノヨイ日，  
昼前，中島（敦）ノ処ヲ訪ネタラ，十六日ノ日ニヒドイ発作デ入院シ，其後ハ十一本  
カラ注射ヲ打ッテ，殆ド危カッタ由，病院<sup>354</sup>ハ近イト云フノデ直グニ尋ネテユク。相  
變ラズ，何枚モ布団ヲ積ミ上ゲタ所ニ凭リカカッテ，苦シサウナ形デ居タガ，思ッタヨ  
リハ元氣デ，一時間バカリモ話シテ昼過ギニ歸ッテ来ル。

午後，英サンガ写真ヲ取りニ来テクレタノデ，色々写シテ貰フ。後藤ノ処ニ保科君ガ  
来テ居テ，ソノママ家ニ来テ永イコト話シテ居ル。入レ交リニ夕方ミスズサントカ云フ  
オ嬢サンガ指ヲ切ッテ貰ヒニ来テ，コレモ永イコト話シテ行ク。ミスズサンガ歸ルトス  
グニ英サンガ来テ，一緒ニ夕御飯ヲ食ベテユク。

受信 中島敦，緒方□勉，